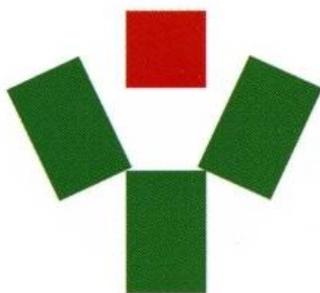


公立大学法人
山形県立保健医療大学
2024 年業績集



Yamagata Prefectural
University of
Health Sciences

令和 7 年 5 月

山形県立保健医療大学評価委員会

令和 6 (2024) 年業績集の発刊に寄せて

山形県立保健医療大学学長

上月 正博

山形県立保健医療大学の令和 6 (2024) 年の業績集の発刊の運びとなりました。

これまでの業績集の巻頭言でも繰り返し申し上げてきましたが、本学では、平成 23 (2011) 年より、毎年、業績集が発刊され、本学の活動・実績が具体的に示されています。各教員の活動を総括し、大学のアカデミック・アクティビティを評価し、それらを社会に公表するアカウンタビリティとしても大変重要な資料です。

保健・医療の分野では、その職責を担う人々（保健医療専門職）の日々の実践の中では、様々な解決すべき課題が生じ、これらを個別に解決・克服していくとともに、一つの体系として整理・統合し、次の世代に伝えるということが脈々と受け継がれてきました。すなわち、実践、課題提起と問題解決（研究）、体系化、教育・伝承が、保健医療専門職の日常の活動の中で渾然一体としておこなわれております。従って、保健・医療に携わるものは常にそのような意識をもって日常の活動を積み重ね、その記録や成果を作成・保存していく必要があります。さらにそれを総括し、公表することによって、本人の意識付けとなり、また、社会的な価値が付加されます。保健医療専門職を養成する本学としては、このような日々の活動やその積み重ねをどのように総括し、公表していくかについて具体的に提示し、検証することが次世代をになう学生・院生の教育の一環にもなります。そのような意味合いからも、本業績集は非常に貴重な教育資材であり、財産でもあるといえます。

本学は、現在、運営・教育・研究において、様々な改革がすすんでいます。このような中で、その足跡が毎年積み重ねられ、堅牢な土台として蓄積されることは、本学の向後の発展にとっても極めて重要なことです。来年以降の益々の業績の積み重ねを期待して、本年の業績集の巻頭の言といたします。

令和 7 (2025) 年 5 月

I. 研究業績

① 著書（単著）

- 1). 上月正博. 腎機能 自力で強化！ 腎臓の名医が教える最新1分体操大全 特大版. 東京都：文響社；2024/1/25 発行.
- 2). 上月正博. 腎臓の世界的名医が教える腎機能が改善するゼロ塩スープ. 東京都：アスコム；2024/3/11 発行.
- 3). 上月正博. 腎臓の名医が教える 腎機能強化ノート. 東京都：文響社；2024/4/4 発行.
- 4). 上月正博. 腎臓を強くして老化を防ぐ！ POWER MOOK 39. 東京都：大洋図書；2024/6/5 発行.
- 5). 上月正博. 腎臓の名医が教える 腎機能自力で強まる体操と食事. 東京都：徳間書店；2024/8/31 発行.
- 6). 上月正博. 国立大学教授・腎臓の世界的名医が教える 運動を頑張らなくても 腎機能がみるみる強まる食べ物大全. 東京都：文響社；2024/9/10 発行.

② 著書（共著）

- 1). Kohzuki M. ed. Recent Progress in Rehabilitation Medicine. Journal of Clinical Medicine (Special Issue). MDPI. ISBN 978-3-7258-0849-6 (Hardback) ISBN 978-3-7258-0850-2 (PDF)；2024.
- 2). 上月正博（他・著）. B-SES 症例・エビデンス集. 日本骨格筋電気刺激研究会；2024/2/14 発行.
- 3). 上月正博（監修）. 腎臓にいいこと超大全. 東京都：宝島社；2024/2/26 発行.
- 4). 内山葉子, 大竹真一郎, 岡田正彦, 上月正博, 長尾和宏, 宮澤賢史（監修）. 医者が教えるクスリとサプリメントの危ない飲み方、選び方. 東京都：TJMBOOK（宝島社）；2024/8/22 発行.
- 5). 上月正博（編集）. 特集 大きく変貌したりハビリテーション医療—超高齢・重複障害に対する医療の切り札. 診断と治療 2024年6月号. 東京都：診断と治療社；2024/6/10 発行.
- 6). 上月正博（編・著）. 臨床透析 2024年6月増刊号 腎臓リハビリテーション 理論と実際. 東京都：日本メディカルセンター；2024/6/15 発行.
- 7). 上月正博（編集）. 特集 重複障害リハビリテーションの進歩—心臓・腎臓の重複障害を中心に. 臨床リハ 33 巻 8 号. 東京都：医歯薬出版；2024/7/15 発行.
- 8). 上月正博, 伊藤 修, 原田 卓（編集）. イラストでわかる患者さんのための心臓リハビリ入門 第3版. 東京都：中外医学社；2024/11/10 発行.

③ 原著論文等・総説

- 1). Kohzuki M. Renal rehabilitation : present and future perspectives. Journal of Clinical Medicine J. Clin. Med. 2024;13(2): 552 ; <https://doi.org/10.3390/jcm13020552>.
- 2). Kohzuki M. Multimorbidity and multiple disabilities : present status and the roles of rehabilitation. Journal of Clinical Medicine J. Clin. Med. 2024;13(21): 6351 ; <https://doi.org/10.3390/jcm13216351>.
- 3). Sato T, Morishita S, Ono M, Funami Y, Hayao K, Kusano D, Kohzuki M. Impact of moderate to vigorous intensity physical activity on change in renal function in patients after acute myocardial infarction. Heart & Lung 2024;39(5):393-403. doi: 10.1007/s00380-023-02354-6.

- 4). Miura M, Kohzuki M, Saito C, Sakai S, Sugaya H, Koyama S, Matsui Y, Ito O, Yamagata A. Systemic capillary responses to acute exercise in hypertensive seniors: insights from a single-center pilot study. J. Clin. Med. 2024; 13(10):2818 ; <https://doi.org/10.3390/jem13102818>.
- 5). Fan Y, Nishimura H, Sakata S, Okada Y, Ebihara S, Tang JW, Kohzuki M. Minimal influenza virus transmission from touching contaminated face masks: a laboratory study. Sci Rep. 2024;14(1):20211.
- 6). 【総説】上月正博. MESSAGE FROM THE PRESIDENT：教育・研究環境抜群の本学で、世界水準の保健・医療のスペシャリストに。YPU of Health Sciences GUIDE 2024. p3-4, 2024.
- 7). 【総説】上月正博. 学長メッセージ：山形県立保健医療大学大学院に関心をお持ちの皆様へ。Graduate School of YPU GUIDE 2024. p1, 2024.
- 8). 【総説】上月正博. One Point Advice 「安静」が危ない！ 1日で2歳も老化する！ Medical Practice 41:147, 2024.
- 9). 【総説】上月正博. 超高齢社会・重複障害時代に対するリハビリテーション：医療施設でできること、家庭でできること。理学療法研究・長野 52；1-9, 2024.
- 10). 【総説】上月正博. おうちでできる簡単腎リハ運動第11回。ぜんじんきょう 2024年1月6日号、321号：23.
- 11). 【総説】上月正博. そらまめ運動の時間「有酸素運動 腎臓活性化らくらくウォーキング」。そらまめ通信 2024年冬号、127：9.
- 12). 【総説】上月正博. 早朝を避けて毎日30分ウォーキングをすれば血圧も死亡率も下がると医師が推奨。高血圧新装版 食べて下げる最高の治し方。ブティック・ムック 1720号：61-63, 2024.
- 13). 【総説】上月正博. 令和05年度看護実践研究センター活動報告書の発行に際して。看護実践研究センター実績報告書。2024年発行 p1.
- 14). 【総説】上月正博. 運動をすると腎機能が高まり尿たんぱくが減ると 大学病院で実践の腎臓リハビリ 壮快。ブティック社 ブティック・ムック 2024年3月 p54-61.
- 15). 【総説】上月正博. おうちでできる簡単腎リハ運動第12回。ぜんじんきょう 2024年3月6日号、322号：23.
- 16). 【総説】上月正博. 超高齢社会・重複障害時代に対するリハビリテーション：医療施設でできること、家庭でできること。理学療法研究・長野 2024；51：1-9.
- 17). 【総説】上月正博. 慢性腎臓病とリハビリテーション。臨床と研究 2024；101(4)：459-464.
- 18). 【総説】上月正博. 血管を拡張する「NO」も増える！ 運動で腎機能が改善し透析も先延ばしできる。安心 2024年5月初夏号、2024；102-103.
- 19). 【総説】上月正博. 慢性腎臓病の患者だけでなく透析患者も実践！ 世界が注目する「腎臓リハビリ」。安心 2024年5月初夏号、2024；104-105.
- 20). 【総説】上月正博. おうちでできる簡単腎リハ運動第13回。ぜんじんきょう 2024年4月26日号、323号；21.
- 21). 【総説】上月正博. 腎臓リハビリテーション。腎と透析 2024；96(5)：666-670.
- 22). 【総説】上月正博. 序文 臨床透析。2024；40(7)：691.
- 23). 【総説】上月正博. 腎臓リハビリテーションの定義、歴史とエビデンス。臨床透析 2024；40(7)：702-714.

- 24). 【総説】上月正博。ねらい 大きく変貌したりハビリテーション医療—超高齢・重複障害に対する医療の切り札。診断と治療 2024；112(6)：669。
- 25). 【総説】上月正博。総論 リハビリテーションの大変貌 内科でも活かせる TIPS。診断と治療 2024；112(6)：674-679。
- 26). 【総説】上月正博。特集にあたって。臨床リハ 2024；33：731。
- 27). 【総説】上月正博。重複障害のリハビリテーションの定義と課題。臨床リハ 2024；33：732-738。
- 28). 【総説】上月正博。おうちでできる簡単腎リハ運動第 14 回。ぜんじんきょう 2024 年 7 月 6 日号、324 号：20。
- 29). 【総説】上月正博。特集 「強い腎臓」をつくる 腎臓は健康長寿のカギ。PHP からだスマイル 2024 年 9 月号、69：20-27。
- 30). 【総説】上月正博。特集 「強い腎臓」をつくる 「腎リハ」で機能改善。PHP からだスマイル 2024 年 9 月号、69：28-33。
- 31). 【総説】上月正博。委員会紹介 国際委員会。Jpn J Rehabil Med 2024；61：679。
- 32). 【総説】上月正博。おうちでできる簡単腎リハ運動第 15 回。ぜんじんきょう 2024 年 9 月 6 日号、325 号：20。
- 33). 【総説】上月正博。寿命に直結する腎臓長持ち習慣。日経ヘルス 2024 秋号（日経ウーマン 2024 年 10 月号臨時増刊）48-51、2024 年 9 月 17 日発行。
- 34). 【総説】上月正博。腎臓リハビリテーションにおける AI 活用。腎と透析 97；2024：618-622。2024 年 10 月号。
- 35). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識①：お腎機能を守るためにまず始めたい！朝食は塩ゼロなど食べ方の重要ポイント 10。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：65-337。
- 36). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識②：7 人に 1 人が慢性腎臓病！「高血圧」「糖尿病」「メタボ」対策が食事療法の基本。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：368-339。
- 37). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識③：みそ汁は 1 日 1 杯、「かける」より「つける」、隠れ塩分に注意など減塩のコツ。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：340-341。
- 38). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識④：極端な糖質制限は危険！お勧めはもち麦ごはん！血糖値の急上昇を防ぐ食べ方。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：342-343。
- 39). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑤：ローズよりヒレ、寒天でカサ増し、酢を飲むなど内臓脂肪を減らす食べ方の極意。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：344-345。
- 40). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑥：便秘の人は腎臓病になりやすい！「酸化」「糖化」「腸内環境の悪化」を防ぐ食事。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：346-347。
- 41). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑦：たんぱく質の減らしすぎは危険！肉や魚を食べても腎機能を悪化させない食事。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：348-349。
- 42). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑧：野菜や肉はゆでて食べる！塩化カリウムに要注意！カリウムを賢くとる食べ方。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：350-351。
- 43). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑨：吸収率は 90% 超！腎機能低下を招く食品添加物のリンの摂取を減らす食べ方。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：352-353。
- 44). 【総説】上月正博。腎機能ラクして強化する新常識⑩：お勧めは小分けウォーキングと 1 分片足立ち！食事の効果を高める腎臓リハビリ。壮快 2024 年 12 月冬号、10 号：354-355。

- 45). 【総説】上月正博，おうちでできる簡単腎リハ運動第16回，ぜんじんきょう 2024年11月6日号、326号：15.
- 46). 【総説】上月正博，追悼文 佐藤徳太郎先生を偲んで，心臓リハビリテーション (JJCR) 2024；30：254.
- 47). 【総説】上月正博，4 循環器疾患 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第5版 (前田眞治、編)，医学書院 2024年 p58-105，2024/10/15 発行.
- 48). 【総説】上月正博，5 呼吸器疾患 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第5版 (前田眞治、編)，医学書院 2024年 p106-148，2024/10/15 発行.
- 49). 【総説】上月正博，8 血液・造血器疾患 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第5版 (前田眞治、編)，医学書院 2024年 p203-229，2024/10/15 発行.
- 50). 【総説】上月正博，11 腎・泌尿器疾患 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第5版 (前田眞治、編)，医学書院 2024年 p270-296，2024/10/15 発行.
- 51). 【総説】上月正博，付録 薬剤 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 第5版 (前田眞治、編)，医学書院 2024年 p360-371，2024/10/15 発行.
- 52). 【総説】上月正博，多疾患・重複障害(multimorbidity and multiple disabilities：MMD)とは，理学療法ジャーナル 2024；58(11)：1194-1200.
- 53). 【総説】上月正博，腎臓リハビリテーションにおける AI 活用，腎と透析 2024；97(4)：618-622.
- 54). 【総説】上月正博，腎臓リハビリテーションの現状と課題，Jpn J Rehabil Med 2024；61：336-342.
- 55). 【総説】三浦美佐，上月正博，Q18 骨格筋電気刺激法について教えてください，透析リハビリテーションの考え方、やりかた Q&A (加藤明彦、山内克哉、山口智也 編著)，中外医学社 p118-121，2024.
- 56). 【総説】三浦美佐，上月正博，骨格筋電気刺激の有用性，臨床透析 2024；40(7)：990-996.

II. 学会・研究会発表

A) 国際学会・研究会など

- 1). Kohzuki M：Renal rehabilitation, news and introduction：The 4th Scientific Meeting of International Society of Renal Rehabilitation, (Niigata, Japan Zoom webinar) 2024.3
- 2). Kohzuki M：President remark. Annual Scientific Meeting of Asian Society of Human Services, (Hiroshima, Japan)，2024.8

B) 国内学会・研究会など

- 1). 上月正博：特別講演：「安静」が危ない！ 1日で2歳も老化する！日本交通医学会東北地方会，宮城県仙台市，JR 仙台病院 2024.1
- 2). 上月正博：特別講演：透析運動療法の実態と効果。現状と将来展望 第14回透析運動療法研究会，山形県山形市，山形テルサ，2024.2
- 3). 上月正博：教育講演：糖尿病のリハビリテーション医療 日本リハビリテーション医学会市民公開講座「内科の病気のリハビリテーション医療」，講演 (Zoom ウェビナー)，2024.2

- 4). 上月正博：シンポジウム講演：R4 透析中の運動指導加算改訂のその後（これまでの変遷と今後の方向性）今後の展望，第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，新潟県新潟市，朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター，2024.3
- 5). 三浦美佐、志村まゆら、森戸直記、斎藤知栄、伊藤修、山縣邦弘、上月正博：ラット前肢の運動による身体機能への影響，第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，新潟県新潟市，朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター，2024.3
- 6). 三浦美佐、工藤綾乃、伊藤修、上月正博：高齢患者に対しての非透析日でのHIITが身体機能に与える影響，第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，新潟県新潟市，朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター，2024.3
- 7). 上月正博：教育講演：腎臓リハビリテーションの現状と課題 腎臓病と栄養・代謝・食事フォーラム2024，日経ホール，東京都千代田区，2024.3
- 8). 上月正博：特別講演：超高齢社会・重複障害時代における心腎連関のリハビリテーションの役割，第16回栃木県心血管リハビリテーション研究会，Zoomによるオンライン配信，2024.5
- 9). 上月正博：特別講演：慢性腎臓病の運動療法。世界をリードする腎臓リハビリテーション，第32回山形県理学療法学会学術集会，山形県山形市，山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング，2024.6
- 10). 高橋麻子、上月正博、伊藤 修：Dahl 食塩感受性ラットの腎ミトコンドリア脂肪酸代謝における長期的運動の役割，第61回日本リハビリテーション医学会学術集会，東京都渋谷区，2024.6
- 11). 原田 卓、上月正博：当院における顔面神経麻痺へのリハビリテーション医療の経験，第61回日本リハビリテーション医学会学術集会，東京都渋谷区，2024.6
- 12). 上月正博：教育講演：心臓疾患（CCUでのリハビリテーション診療を含む）に対するリハビリテーション診療，日本リハビリテーション医学会2023年度「急性期病棟におけるリハビリテーション診療、栄養管理、口腔管理に係る医師研修会」講演（Zoom ウェビナー），2024.6
- 13). 上月正博：教育講演：心臓疾患（CCUでのリハビリテーション診療を含む）に対するリハビリテーション診療，日本リハビリテーション医学会2024年度「急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会」講演（Zoom ウェビナー），2024.6
- 14). 上月正博：特別講演：心不全パンデミック時代の予防と課題，第11回日本予防理学療法学会学術大会，宮城県柴田郡，仙台大学，2024.11
- 15). 上月正博：特別講演：重複障害患者の循環器理学療法に求めること Adding Life to Years and Years to Life，第8回日本循環器理学療法学会学術大会，宮城県仙台市，仙台国際センター，2024.11
- 16). 上月正博：教育講演：内部障害リハビリテーション医学・医療：歴史と展望。第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会，岡山コンベンションセンター，岡山県岡山市，2024.11

Ⅲ. 学会・講演会・シンポジウムなどの主催

- 1). Kohzuki M. The 4th Scientific Meeting of International Society of Renal Rehabilitation. (Niigata, Japan Zoom webinar) 2024.3

Ⅳ. 社会貢献，地域貢献

- ① 公開講座，講演会，研修会，講習会，高校への出張講義などの講師

- 1). 上月正博：特別講演：透析患者に対する腎臓リハビリテーション エビデンスと診療報酬対策。第3回奄美透析懇話会，鹿児島県奄美市，奄美観光ホテル，2024.1
- 2). 上月正博：教育講演：心不全・心筋梗塞を予防する 東北大学方式 心臓リハビリの効果，第1回県民健康講座，山形県山形市，山形県生涯学習センター「遊学館」，2024.5
- 3). 上月正博：教育講演：慢性腎臓病の透析予防指導管理に理学療法士が関わる際のポイント，日本理学療法士協会講演（Zoom ウェビナー），2024.5
- 4). 上月正博：医学部講義：腎臓リハビリテーション，東北大学医学部大講義室，2024.5
- 5). 上月正博：特別講演：超高齢・重複障害時代のリハビリテーション，キルシェブリーフィング（山形ロイヤル病院第5回病診連携報告会），山形県東根市，東根市さくらんぼタントクルセンター，2024.6
- 6). 上月正博：下関市立大学特別専攻科集中講義「病弱者の心理・生理・病理」超高齢社会での問題点と身体不活動，下関市立大学（web），2024.8
- 7). 上月正博：下関市立大学特別専攻科集中講義「病弱者の心理・生理・病理」内部障害とその原因疾患，下関市立大学（web）2024.8
- 8). 上月正博：下関市立大学特別専攻科集中講義「病弱者の心理・生理・病理」リハビリテーション，下関市立大学（web），2024.8
- 9). 上月正博：下関市立大学特別専攻科集中講義「病弱者の心理・生理・病理」内部障害のリハビリテーション，下関市立大学（web），2024.8
- 10). 上月正博：学長講話（2）令和6年度山形県立保健医療大学公開講座，2024.8
- 11). 上月正博：腎臓リハビリテーション総論 第4回日本腎臓リハビリテーションガイドライン講習会，東京都千代田区，イー・アソシエイツ株式会社スタジオ，2024.9
- 12). 上月正博：特別講演：腎臓リハビリテーションのエビデンスと最近の話題 千葉県腎疾患対策 web 講演会 2024，千葉県成田市，2024.10
- 13). 上月正博：特別講演：腎臓リハビリテーション 効果と実際 腎臓リハビリテーション推進研修会，宮城県北部保健福祉事務所（宮城県大崎保健所）（web），2024.10
- 14). 上月正博：特別講演：安静が危ない！ 1日で2歳も老化する！ 宮城県女医会市民公開講演会，宮城県仙台市，仙台市急患センター2階ホール，2024.10
- 15). 上月正博：特別講演：超高齢社会のわが国で必要なりハビリテーションの知識と技術とは？ 第12回地域医療連携懇話会，福島県いわき市，PALACE IWAYA，2024.10
- 16). 上月正博：特別講演：保存期CKD患者に対する腎臓リハビリテーションと心腎連関 第5回CKD地域医療連携を考える会，神奈川県神戸市，TKP ホテルプラザ神戸，2024.10
- 17). 上月正博：学長講話（3）令和6年度山形県立保健医療大学公開講座，2024.10
- 18). 上月正博：特別講演：心臓リハビリと腎臓リハビリ 共通点を相違点 心・腎ケアカンファレンス，名古屋市中区（web）2024.11
- 19). 上月正博：Opening Remarks 山形心臓リハビリテーションサミット，山形県山形市，山形テルサ，2024.11
- 20). 上月正博：学長講話（4）令和6年度山形県立保健医療大学公開講座，2024.12
- 21). 上月正博：教育講演：腎臓リハビリテーション 現状と将来展望，令和6年度日本医師会障害教育講座，石川県金沢市，石川県医師会館，2024.12

② 公的機関等の委員

- ・ 国際腎臓リハビリテーション学会，理事長
- ・ アジアヒューマンサービス学会，理事長
- ・ 日本リハビリテーション医学会，理事
- ・ 日本腎臓リハビリテーション学会，理事（前理事長）
- ・ 日本運動療法学会，理事
- ・ 日本フットケア・足病医学会，理事
- ・ 日本遠隔運動療法協会，理事
- ・ 日本臨床運動療法学会，監事
- ・ 東北シミュレーション医学医療教育研究会，世話人
- ・ NPO 法人スペシャルオリンピック日本・山形，理事
- ・ 恩賜財団済生会山形県済生会，理事
- ・ 大学コンソーシアムやまがた，副会長
- ・ 山形県准看護師試験委員
- ・ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，評議員
- ・ 日本抗加齢医学会，評議員
- ・ 日本心臓リハビリテーション学会，名誉会員
- ・ 日本高血圧学会，功労会員
- ・ 日本腎臓学会，功労会員
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，功労会員
- ・ 日本心血管内分泌代謝学会，功労会員
- ・ 日本内科学会東北地方会，功労会員
- ・ 日本循環器学会東北地方会，名誉支部員
- ・ 厚生労働省「長寿科学政策研究事業」中間・事後評価委員会，委員
- ・ 厚生労働省「認知症政策研究事業」中間・事後評価委員会，委員
- ・ Asian Journal of Human Services Editor-in-Chief
- ・ Open Journal of Therapy and Rehabilitation Editor-in-Chief
- ・ Journal of Clinical Medicine (Clinical Rehabilitation Section) Section Editor-in-Chief
- ・ Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Review Board
- ・ Tohoku Journal of Experimental Medicine Editorial Review Board
- ・ Physical Medicine & Rehabilitation International Editorial Review Board

V. 外部資金取得

- 1). 田倉智之（研究代表者），上月正博（分担研究者）：2022年度～2024 科学研究費助成事業基盤研究 B「アドヒアランスの臨床経済的な長期影響の研究：AI とビッグデータの予測モデル開発」22H03307
- 2). 三浦美佐（研究代表者），上月正博（分担研究者）：2021 年度～2025 年度科学研究費助成事業基盤研究 C「血管内皮機能改善を目指した至適運動の解明」21K11189
- 3). 上月正博（研究代表者）：2024 年度～2028 科学研究費助成事業基盤研究 C「重複障害における心腎機能改善を目指すリハビリテーションの確立」24K14350

VI. その他、特記すべき事項

- 1). 上月正博：弱った心臓そのものを元気にする「心臓リハビリ」 「いきいきウォーキング」で死亡率を下げる，東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/723330>，2024 年 1 月 13 日掲載
- 2). 上月正博：弱った心臓そのものを元気にする「心臓リハビリ」 性格によって異なる「心臓病になりやすいタイプ」，東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/723331>，2024 年 1 月 20 日掲載
- 3). 上月正博：弱った心臓そのものを元気にする「心臓リハビリ」 冬場の心筋梗塞「家の中での寒暖差」に要注意，東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/724417>，2024 年 1 月 30 日掲載
- 4). 上月正博：令和 5 年度卒業生告辞，ほほえみ（山形県立保健医療大学教育振興会 編集・発行），2024 年 3 月 第 74 号、p2-3.
- 5). 上月正博：たんばく質があなたの不調を救う！，女性セブン，2024 年 4 月 4 日号、93-98.
- 6). 上月正博：【ラジオ出演】腎臓に関する豆知識（その 1），J-WAVE Tokyo Morning Radio J-WAVE，2024 年 4 月 29 日
- 7). 上月正博：【ラジオ出演】腎臓に関する豆知識（その 2），J-WAVE Tokyo Morning Radio J-WAVE，2024 年 5 月 6 日
- 8). 上月正博：腎臓が長持ちするかどうかの分かれ道「気づいたら腎不全」という事態を防ぐために，日経 Gooday <https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/18/011800005/041100092/>，2024 年 5 月 7 日掲載
- 9). 上月正博：血液がん、心臓リハビリ学ぶ，本社 8 大事業 山形で「県民健康講座」，山形新聞朝刊 2024 年 5 月 10 日、1 面
- 10). 上月正博：県民健康講座 2024 年度第 1 回 医療の力 人生豊か：心臓リハビリ、まず運動，山形新聞朝刊 2024 年 5 月 16 日、16 面
- 11). 上月正博：第 35 回 生活や運動の機能も診られる名医に！，ジェネラリスト NAVI https://genenavi.igaku-shoin.co.jp/articles/naikainomichi_035，2024 年 6 月 7 日掲載
- 12). 上月正博：「腎臓」が寿命を決める，週刊ポスト，2024 年 6 月 12 日号、39-45.
- 13). 上月正博：腎臓を守る長生きスープ，週刊女性，2024 年 6 月 18 日号、70-74.
- 14). 上月正博：「紅麹サプリ」被害で再注目 名医が実践「寿命を決める臓器」を守る方法，週刊新潮 2024 年 6 月 20 日号、36-39.
- 15). 上月正博：自覚症状なしで人工透析に… 「寿命を決める臓器」腎臓を守るには 1 日に何歩歩けばいいのか，デイリー新潮，<https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/dailyshincho/life/dailyshincho->，2024 年 6 月 22 日掲載

- 16). 上月正博：祝辞 一般社団法人山形県理学療法士会創立 50 周年記念誌, 2024 年 6 月、p6.
- 17). 上月正博：不治の病とされた「慢性腎臓病」が近年<治せる病>に? 専門医「かつての常識では、腎臓病になった後に体を動かすのはもってのほかだったが・・・」腎機能 自力で強まる体操と食事, 婦人公論 Jp, <https://fujinkoron.jp/articles/-/14171>, 2024 年 10 月 16 日掲載
- 18). 上月正博：1 日ベッドで安静にしているだけでヒトは<2 歳老化>する? 腎臓リハビリ専門医「長年推奨されてきた<慢性腎臓病=安静第一>という考えは今や・・・」腎機能 自力で強まる体操と食事, 婦人公論 jp, <https://fujinkoron.jp/articles/-/14172>, 2024 年 10 月 17 日掲載
- 19). 上月正博：80 代以上の 2 人に 1 人が<慢性腎臓病>? 2005 年から 15 年にかけて患者数は 150 万人も増加の理由とは 専門医「生活習慣病、心血管疾患と関連が」腎機能 自力で強まる体操と食事, 婦人公論 jp, <https://fujinkoron.jp/articles/-/14173>, 2024 年 10 月 18 日掲載
- 20). 上月正博：ベストセラー5 分でわかる健康法 慢性腎臓病が「治せる病」に, 夕刊フジ, 2024 年 10 月 18 日、8 面.
- 21). 上月正博：急速に進化した慢性腎臓病の治療。専門医「1983 年に人工透析の開始年齢は平均 52 歳だったが今では・・・」著重くすべき<新薬>と<運動療法>とは? 婦人公論 jp, <https://fujinkoron.jp/articles/-/14174>, 2024 年 10 月 19 日掲載
- 22). 上月正博：腎機能の回復を目指す 4 つの体操 体の巡りをアップして腎臓の負担を軽減【腎臓専門医監修】, 介護ポストセブン, <https://kaigo-postseven.com/172105>, 2024 年 10 月 30 日掲載
- 23). 上月正博：腎機能を自力で強化! 紅麴問題の不安を解消する「1 分体操」, 週刊ポスト, 2024 年 11 月 1 日号、92-95.
- 24). 上月正博：老化の真実：腎臓対策, 日経トレンディ, 2024 年 11 月号、40-41.
- 25). 上月正博：腎臓力が寿命を決める, 女性セブン, 2024 年 12 月 5 日号、111-113.
- 26). 上月正博：肝臓・腎臓・膵臓 名医の養生訓, Tarzan No.893, 2024 年 12 月 16 日号、11-43.
- 27). 上月正博：なんでも健康相談：慢性腎臓病 運動の程度は? NHK テキストきょうの健康, 2024 年 12 月号、p102.

看護学科 (2024年)

I. 研究業績

① 著書（単著）

- 1). 遠藤恵子. 第3章 「地域保健福祉における助産師の役割」, 成田伸 責任編集, 助産師基礎教育テキスト 第3巻 助産サービス管理 2024年版, 東京:日本看護協会出版会, 2024. 72-87.
- 2). 菅原京子:保健師助産師看護師法・保健師(平林勝政, 小西知世, 和泉澤千恵, 西田幸典編:ナーシンググラフィカ健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度第5版第1刷), メディカ出版, 大阪市, 2024. 77-82.
- 3). 中村康香. 出産前教育としての「コペアレンティング促進プログラム」. 柴田俊一. 産前からの親準備教育のススメ. 東京:明石書店;2024. 31-50.
- 4). 中村康香. 第6章 妊婦の日常生活におけるケア, 森恵美 責任編集, 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア 2024年版, 東京:日本看護協会出版会, 2024. 151-185.
- 5). 青山真帆. (企画・編集), 田村恵子. 特集 グリーフケア実践の tips. 緩和ケア. Vol.34 No.6. 2024. 株式会社青海社
- 6). 蓬田伸一. 第6章 炎症と免疫疾患に対する薬物. 渡邊泰秀・安西尚彦・大内基司(編). コメディカルのための薬理学・第4版. 東京:朝倉書店;2024. 98-111.
- 7). 蓬田伸一. Chapter 9 感染・炎症の制御と薬物療法. 内田靖・藤井浩美・立石雅子(編). リハベシク 薬理学・臨床薬理学・第2版. 東京:医歯薬出版;2024. 74-81.

② 原著論文等・総説

- 1). Aoyama M, Mori M, Morita T, Tsuneto S, Miyashita M. Protocol of a nation-wide post-bereavement survey on quality of hospice and palliative care: J-HOPE 5 study. BMC Palliative Care. 2024. 23(1):277. doi: 10.1186/s12904-024-01600-6.
- 2). 佐藤麻美子, 田上恵太, 田上佑輔, 青山真帆, 井上彰. 継続的な緩和ケアアウトリーチによる訪問看護師の緩和ケアの困難感・自信・意欲の変化に関する縦断調査. Palliative Care Research. 2024; 19(4):279-284.
- 3). 江波戸和子, 安保寛明, 村田 涼子. コンコーダンスを用いた精神障がい者への服薬行動支援する介入効果と課題 海外における介入研究の文献レビュー, 日本精神科看護学術集会誌 2024; 66(2): 153-157.
- 4). 高谷新, 安保寛明, 佐藤大輔, 新宮洋之. 看護職員のワーク・エンゲイジメントと職場におけるソーシャルサポートおよび職業性ストレスの関連-構造方程式モデリングによる検討-.山形保健医療研究.2024; 27: 11-22.
- 5). 鈴木龍生, 宮本翔平, 安保寛明, 日本語版 Recovery Self-Assessment Revised の信頼性と妥当性の検証, 日本精神保健看護学会誌 2024; 33(1): 68-77.
- 6). 遠藤恵子, 高橋直美, 南雲美代子, 菅原京子, 安保寛明, 沼澤さとみ. 看護系大学の実習を受け入れた小規模病院の実習指導者の体験, 山形保健医療研究, 2024; 27: 23-36.
- 7). 牧千亜紀, 菅原京子: 地域生活を送る多発性硬化症患者のライフイベントに関する文献レビュー. 難病と在宅ケア 30巻2号, 42-45頁, 2024.
- 8). 出貝裕子, 大塚真理子, 中込沙織, 徳永しほ, 成澤健, 桂晶子, 萩原潤, 沢田敦子: 認知症高齢者の地域での生活を想定した認知症連携ケアの実践における変化, 日本認知症ケア学会誌, 23 (2) 422-432, 2024.

- 9). Kaji R. Representations of Sexuality and Politics in Aphra Behn's Early Tragicomedies. *Shiron*. 2024; 57: 1-19.
- 10). 菊地圭子,小松良子, 遠藤恵子. COVID-19 流行下における山形県の産科医療機関での保健指導の実態と課題. *山形保健医療研究*.2024;27:37-48.
- 11). 梶井文子, 荻野恵美子, 片山陽子, 坂井志麻, 川上千春, 岩淵起江, 富樫理恵, 遠山寛子. 研究活動推進委員会企画 臨床と研究をつなぐティーサロン. *日本エンドオブライフケア学会誌*. 8巻2号. 62.
- 12). Fukushima M, Kawajiri M, Yoshida M, Takeishi Y, Nakamura Y, Yoshizawa T, Prevalence of pregnancy- and lactation-associated osteoporosis in the postpartum period: A systematic review and meta-analysis, *Drug Discoveries & Therapeutics*, 2024, Aug 25;18(4):220-228. doi: 10.5582/ddt.2024.01037.
- 13). 富樫理恵, 遠藤和子, 幸史子, 丹野克子, 遠藤良仁, 相澤出. 地域で暮らす腎不全高齢者における腹膜透析の選択・導入・継続の促進要因に関する文献検討. 投稿中」日本エンドオブライフケア学会
- 14). Tissot, H., Van Heel, M., Feinberg, M.E., Nakamura, Y. et.al. Measurement invariance of the coparenting relationship scale (CRS) across ten countries.. *Journal of Family Psychology*. 2024 Aug;38(5):697-706 <https://doi.org/10.1037/fam0001228>
- 15). 長井 美樹, 中村 康香, 和田 彩, 川尻 舞衣子, 武石 陽子, 吉田 美香子, 吉沢 豊予子. 妊婦の職務・身体症状の実態と職務調整行動との関連性, *日本母性看護学会誌*, 2024, ; 25(1) : 43-49. https://doi.org/10.32305/jjsmn.25.1_43
- 16). 安保寛明, 子どもの SOS の出し方・受け止め方教育, *日本看護福祉学会誌* 30(1) 5-9,2024
- 17). 安保寛明, SOS の出し方・受け止め方教育の意味と広がり, *精神科看護* 51(4) 10-16,2024
- 18). Sugawara.K : Le nouveau travail social au Japon :vers une societe inclusive pour tous. *LA REVUE FRANÇAISE DE SERVICE SOCIAL*. No.294, p.45~53, 2024.10

II. 学会・研究会発表

A) 国際学会・研究会など

- 1). Ambo H. Takaya S., Enhancing Cross-Cultural Understanding and Professional Development: Insights from Erasmus Plus at the University of Medicine and Pharmacy of Craiova, Romania, The 8th East Asian Forum of nursing Scholarship, Hong Kong, China, Mar 2024
- 2). Ambo H., Promoting Mental Health Awareness and Support in Junior High Schools: An Intervention Experience at Yamagata Prefectural University of Health Sciences, The 8th East Asian Forum of nursing Scholarship, Hong Kong, China, Mar 2024
- 3). Ambo H., Cognitive-behavioral interventions to enhance help-seeking behavior to reduce suicide in teenagers - a pilot project in Yamagata, Japan., The 8th Eastern European Conference of Mental Health, ONLINE(Chişinău), Moldova, Oct 2024
- 4). Katagiri T, Chien S, Maruyama K : Art, Science, and Autonomy Transforming Nursing Organization in Japanese Hospital, 35th International Nursing Research congress, Sigma Theta Tau International, Honor Society of Nursing, Singapore,2024.7.

- 5). Chien S, Katagiri T, Udagawa U, Saito S, Maruyama K : Lifestyle and Autonomic Nerves: Comparing Middle-Aged Women in Urban and Rural Areas in Japan, 35th International Nursing Research congress, Sigma Theta Tau International, Honor Society of Nursing, Singapore, 2024.7.
- 6). Yoshiyuki Takashima, Maiko Muramatsu, Ryu Suzuki, Takemasa Ishikawa: The effect of home-visit nurses' psychiatric hospital work experience on recovery orientation in psychiatric home visit nursing: a cross-sectional study. UTokyo Nursing International Conference 2024, Japan(Tokyo), 2024.7.
- 7). Soma M, Kasahara Y, Funamoto K, Widatalla N, Kimura Y, Nakamura Y, Khandoker A, Yoshizawa T. Investigating maternal-fetal bonding by using maternal and fetal heart rate variability from noninvasive ECG signals during pregnancy. Presented at: The 10th Congress of the European Academy of Pediatric Societies (EAPS); 2024, Oct.17-20 ; Vienna,Switzerland
- 8). Nakamura Y, Morita A, Otsuki E: Fetal attachment and its influencing factors in first-time fathers with partners who are pregnant with their first child, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Poster Abstract No.450. 2024 Mar 6-7; Hong Kong.
- 9). Sakurai A, Koide K, Kasahara Y, Nakamura Y, Yoshizawa T: Effect of Baby Massage on Responsiveness in Mothers and Infants: Insights from High-Frequency Heart Rate Variability Components, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS),Poster Abstract No. 820 , On-site. 2024.03.6-7; Hong Kong.
- 10). Sakurai A, Kasahara Y,Koide K, Nakamura Y, Yoshizawa T: Continuous Baby Massage Enhances Mother-Infant Attachment - Results of Salivary Oxytocin and Cortisol and Psychological Questionnaire, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) ,Poster Abstract No. 825 , On-site. 2024.03.6-7; Hong Kong.
- 11). Atomura K, Nakamura Y, Kodama S, Nakazawa Y, Ogasawara M, Nakagami M, Yamaguchi Y, Odaira T, Saito M, Kawajiri M, Takeishi Y, Yoshida M, Yoshizawa T : Relationship between Preconception Health and Perinatal Outcomes in Pregnant Women with Glucose Metabolism Disorders: A Retrospective Cohort Study, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), Poster Abstract No.820, 2024 Mar 6-7; Hong Kong.

B) 国内学会・研究会など

- 1). 小林満理奈, 今野浩之, 菅原京子 : 乳幼児をもつ父親・母親が捉える「災害への備え」。第12回日本公衆衛生看護学会学術集会, (福岡県北九州市), 2024.1
- 2). 柳澤尚代, 菅原京子, 清水洋子 : 時代が求める! 保健師記録の仕組みづくり! 保健師記録の改善を模索する自治体の取り組み (ワークショップ)。第12回日本公衆衛生学会学術集会 (福岡県北九州市), 2024.1
- 3). 菅原京子 : 教育機関と地域の医療機関が連携した生涯学習支援の取り組み (リレートーク)。日本看護サミット2023 (東京都), 2024.2
- 4). 高橋文香, 遠藤和子, 山田カオル, 富樫理恵 : 糖尿病患者の温泉入浴に関する自己管理～ストレス緩和と低血糖の予防～, 第50回山形県公衆衛生学会, 山形県立保健医療大学, 2024.3.
- 5). 菅原京子, 今野浩之, 栗田敦子, 鈴木育子, 桂晶子, 前田真由美, 伊藤京子 : コロナ禍の時期に就職した山形県内保健所・市町村の新任保健師の人材育成に関する研究. 第50回山形県公衆衛生学会学術集会, (山形県山形市), 2024.3.
- 6). 佐藤日和, 佐藤志保 : 山形県 A 地区の伝統芸能に携わる壮年期の人々の思い.第50回山形県公衆衛生学会, (山形県山形市), 2024.3
- 7). 丸山香織, 片桐智子 : 手術中患者の生命を守るためのシミュレーションを活用した看護学生の思考力と実践力を高める取り組み,Web開催, 第23回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会、秋田大学医学部付属病院シミュレーション教育センター、2024.5

- 8). 佐々木加奈子, 山田カオル: がんサバイバーシップケアのための写真コラージュ実践: 「自分らしさ」探究のビジュアル・エスノグラフィー ―. 第 50 回日本保健医療社会学会, (千葉県千葉市), 2024.5
- 9). 高谷新, 安保寛明, 佐藤大輔, 新宮洋之: 看護職員のワーク・エンゲイジメントと職場コミュニティ感覚の関連 構造方程式モデリングによる検討. 日本精神保健看護学会第 34 回学術集会・総会, 国際医療福祉大学, (千葉県成田市), 2024.6
- 10). 菅原京子: 地域ケアを支える地元ナースの養成 (教育講演). 日本地域看護学会第 27 回学術集会 (宮城県仙台市), 2024.6
- 11). 宮本翔平, 鈴木龍生: 民生委員を対象にしたゲートキーパー養成プログラムの前後比較 (第 1 報), 日本精神保健看護学会第 34 回学術集会, (千葉県成田市), 2024.6.
- 12). 前田東子, 和田彩, 吉田美香子, 吉沢豊予子, 中村康香: 就業中の妊婦における時期・職務別の職務状況及び身体症状の実態調査. 第 26 回日本母性看護学会学術集会, (兵庫県明石市), 2024.6
- 13). 梶理和子: シンポジウム「長い 18 世紀の性と身体の諸相」, 女性の身体とポライトネスの誕生――長い 18 世紀の女性作家の喜劇. 日本ジョンソン協会第 56 回大会, アルカディア市ヶ谷私学会館, (東京都千代田区), 2024.7
- 14). 山田カオル: 患者としてのアイデンティティの顕在化と潜在化―ALS をもつダンスアーティストの経験から―. 第 70 回東北社会学会, (岩手県盛岡市), 2024.7
- 15). 遠藤和子, 宅井さやか, 本田千晶, 有馬弥生: 事例検討会 10 年のまとめと今後の課題―食卓の営みに着目した看護モデルを出発点として―, 第 29 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 国立京都国際会館, (京都府京都市), 2024.9
- 16). 梶理和子: なぜペーンは悲劇を 1 つしか上演しなかったのか. 十七世紀英文学会東北支部 2024 年度第 1 回例会, Web 開催, 2024.11
- 17). 佐藤志保, 鈴木龍生, 沼澤さとみ, 菅原京子: 看護系大学生が 1 年次に持つ看護職のイメージ. 日本ルーラルナーシング学会第 19 回学術集会. (山形県山形市), 2024.11
- 18). 鈴木龍生, 佐藤志保, 沼澤さとみ, 菅原京子: 看護系大学生が 1 年次に「地元」と「生活者」を理解する手がかり～地元を探求する意義とは～. 日本ルーラルナーシング学会第 19 回学術集会. (山形県山形市), 2024.11
- 19). 中村康香. 公募シンポジウム S1-13 産前から夫婦そろって親になる準備教育を受けることによる虐待予防を考える―「親への移行期」に親準備教育を受ける意義 ―: 「コペアレンティング」って何? 妊娠期から親になる準備を, 第 30 回日本子ども虐待防止学会, (香川県高松市), 2024.11
- 20). 高谷新, 安保寛明, 佐藤大輔, 新宮洋之: 役職を持つ看護職員のワーク・エンゲイジメントと職場コミュニティ感覚の関連 構造方程式モデリングによる検討. 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 熊本城ホール (熊本県熊本市), 2024.12
- 21). 菅原京子, 今野浩之, 佐藤志保, 栗田敦子, 西村ユミ, 平澤則子, 高橋直美, 望月由紀, 遠藤恵子, 安保寛明, 斎藤愛依, 樋谷由美子, 沼澤さとみ: 地元創成看護がらの IT 活用探究―地域保健医療で「人に優しい IT 化」を進めるスウェーデンに学ぶ―. 第 44 回日本看護科学学会学術集会, (熊本県熊本市), 2024.12
- 22). 鈴木龍生, 宮本翔平, 佐藤大輔, 高谷新, 廣田みき, 安保寛明, 日本語版 RSA-R(利用者用)の信頼性と妥当性の検証, 日本精神保健看護学会第 33 回学術集会, (兵庫県神戸市), 2024.12
- 23). 高橋直美: ターミナルケアにおいて訪問看護師が強化すべき行動とその行動が取れるようになるための対策. 第 44 回日本看護科学学会学術集会, (熊本県熊本市), 2024.12

- 24). 柴田美夢菜, 松田妃蘭, 武石陽子, 吉沢豊予子, 中村康香: 第1子が1歳時点の夫婦におけるクラスター分析を用いた夫婦コペアレンティング関係性の特徴. 第44回日本看護科学学会学術集会, (熊本県熊本市), 2024.12
- 25). 松田妃蘭, 柴田美夢菜, 武石陽子, 吉沢豊予子, 中村康香: 初めて親になった男女の児出生後3ヶ月時における家事育児負担納得度と親への適応との関連. 第44回日本看護科学学会学術集会, (熊本県熊本市), 2024.12

III. 学会・講演会・シンポジウムなどの主催

- 1). 菊地圭子 (委員) 令和5年度第2回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.1
- 2). 栗田敦子 日本訪問リハビリテーション協会: 第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 山形, 実行委員, 山形市, 2024.6.
- 3). 今野浩之 日本地域看護学会第27回学術集会, 企画運営委員, 2024.6
- 4). 菊地圭子 (委員) 令和6年度第1回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.10
- 5). 前田のぞみ 令和6年度第1回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.10
- 6). 青山真帆 (主催・共同代表) 「グリーンケアマップを作ろう」の会市民公開講座, 宮城県仙台市, 2024.11
- 7). 遠藤恵子 第46回山形県母性衛生学会学術集会 会長 山形市, 2024.11
- 8). 貝野瀬友希 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 実行委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 9). 菊地圭子 (実行委員) 第46回山形県母性衛生学会, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 10). 栗田敦子 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 実行委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 11). 小松良子 (企画運営): 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 12). 今野浩之 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 実行委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 13). 佐藤志保 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 企画委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 14). 鈴木育子 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 学術集会会長, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 15). 鈴木龍生 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 企画委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 16). 富樫理恵 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 実行委員, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 17). 渡邊礼子 (企画委員) 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 18). 渡邊礼子 (事務局) 第46回山形県母性衛生学会学術集会, 山形県立保健医療大学, 2024.11

- 19). 菊地圭子（委員） 令和6年度第2回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会,山形県立保健医療大学,2024.12
- 20). 前田のぞみ 令和6年度第2回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会,山形県立保健医療大学,2024.12

IV. 社会貢献, 地域貢献

① 公開講座, 講演会, 研修会, 講習会, 高校への出張講義などの講師

- 1). 安保寛明: 埼玉県訪問看護ステーション協会「精神科訪問看護研修会」,埼玉県さいたま市,2024.1
- 2). 安保寛明: 天童市立長岡小学校「情報教育教室」,山形県天童市,2024.1
- 3). 安保寛明: 天童市立天童北部小学校教職員「学級経営改善研修会」,山形県天童市,2024.1
- 4). 安保寛明: 山形県置賜地域置賜定住自律圏構想における自殺対策広域講演会「支援者のメンタルケアと体制づくり」,山形県置賜地域,2024.1
- 5). 安保寛明: 最上地域自殺対策推進会議「自殺対策推進・精神障がい者にも対応した地域包括ケア推進」に関する助言,山形県新庄市,2024.1
- 6). 安保寛明: 山形市精神障がい者課題検討ワーキング研修会「山形市における退院・退所支援の取り組み～障がい福祉サービス 地域移行支援を利用して」に関する助言,山形県山形市,2024.1
- 7). 安保寛明: 最上町健康づくり事業自殺対策人材育成「ゲートキーパー養成講座」,山形県最上郡最上町,2024.1
- 8). 安保寛明: 村山保健所「村山地域精神障がい者地域移行・地域定着推進に係る意見交換会」の助言,山形県村山市,2024.1
- 9). 菊地圭子: 豊かな未来を生きるために～知っておきたいからだといのちの話～,思春期セミナー,山形県立山形工業高等学校, 山形県山形市,2024.1
- 10). 菊地圭子: いのちの大切さ～共に生きる～,いのちの学習,山形市立宮浦小学校, 山形県山形市,2024.1
- 11). 菊地圭子: 豊かな未来を生きるために～知っておきたいからだといのちの話～,思春期セミナー,山形県立山形工業高等学校, 山形県山形市,2024.1
- 12). 菊地圭子: 大事なからだところ,いのちの学習,山形市立南小学校, 山形県山形市,2024.1
- 13). 安保寛明: 西川町まちづくり団体活動補助金事業（おれんじルーム）講演会「子どものSOSに応えるための受け止め方とつながりの工夫」,山形県西川町,2024.2
- 14). 安保寛明: 東根市健康づくり事業健康ひがしねアカデミー講演会「怒りの気持ちに上手に対処するために」,山形県東根市,2024.2
- 15). 安保寛明: 山形県教育センター教育相談課研修会「電話相談における SOS の受け方」講義・演習,指導・助言,山形県山形市,2024.2
- 16). 安保寛明: 山形県ひきこもりサポーター養成講座「ひきこもりの理解と基礎知識」「当事者と家族への関わり方」,山形県山形市・山形県三川町,2024.2
- 17). 安保寛明: 村山市民生委員児童委員講義会全員研修「地域で困難を抱える方々に対する民生委員児童委員の支援について」,山形県村山市,2024.2

- 18). 安保寛明：天童市立第三中学校「SOS の出し方教育」,山形県天童市,2024.2
- 19). 安保寛明：山形県社会福祉事業団各施設職員「意思決定支援研修」,山形県山形市,2024.2
- 20). 安保寛明：寒河江市立醍醐小学校「SOS の出し方・受け止め方講座」,山形県寒河江市,2024.2
- 21). 安保寛明：山形県「メンタルヘルスケア事例検討会」における助言,山形県山形市,2024.2
- 22). 安保寛明：山形県職員職場復帰支援に係る助言,山形県山形市,2024.2
- 23). 遠藤恵子：山形市南小学校「いのちの学習」山形県山形市,2024.2
- 24). 遠藤恵子：山形市第十小学校「いのちの学習」山形県山形市,2024.2
- 25). 菊地圭子：生命誕生・大切ないのち,いのちの学習,中山町立長崎小学校,山形県中山町,2024.2
- 26). 佐藤志保：新庄徳洲会病院 看護研究相談支援,山形県新庄市,2024.2
- 27). 佐藤志保：第 52 回山形県糖尿病教育スタッフ会研修会,Web 開催,2024.2
- 28). 菅原京子：仙台市宮城野区保健センター職場研修：児童虐待対応における記録の書き方-情報開示請求に耐えうる記録,仙台市宮城野区保健センター,宮城県仙台市,2024.2
- 29). 菅原京子：全国健康保険協会山形支部研修会：特定保健指導事例検討会,協会けんぽ,山形県山形市,2024.2
- 30). 山田カオル：看護実践研究センター教育力向上セミナー 看護職者の洞察力を高める演習の展開「非日常性課題から抽象性を育てる—ブロックで考える私たちの 2030 年—」2024.2
- 31). 安保寛明：遊佐町健康推進員ゲートキーパー養成研修会「人とのつながりを大切に～ゲートキーパーの役割を学ぶ～」,山形県遊佐町,2024.3
- 32). 安保寛明：寒河江市立綾東中学校「SOS の出し方・受け止め方講座」,山形県寒河江市,2024.3
- 33). 安保寛明：河北町保健事業健康づくりセミナー「こころの健康セミナー（ストレスとの付き合い方について）」,山形県河北町,2024.3
- 34). 安保寛明：白鷹町こころの健康づくり講座（こころのサポーター養成講座）、山形県白鷹町,2024.3
- 35). 渡邊礼子：長井市子育て支援センター“赤ちゃんクラス”やさしいストレッチ動画、企画・作成・監修・提供
- 36). 渡邊礼子：食育イベント運営,天童市仲町公民館,2024.3
- 37). 安保寛明：宮城県看護協会新人看護職員研修責任者研修「メンタルヘルスマネジメント」,宮城県仙台市,2024.4
- 38). 遠藤恵子：山形県立中央病院「研究計画書作成・研究の倫理」山形県山形市,2024.4
- 39). 安保寛明：宮城県看護協会新卒新人研修「メンタルヘルスマネジメント」,宮城県仙台市,2024.5
- 40). 安保寛明：宮城県看護協会新人看護職員研修責任者研修「新人の定着を促進するリフレッシュ研修の企画と進め方」県自殺対策事業・自殺対策推進センター事業に関する助言,山形県精神保健福祉センター,2024.5
- 41). 安保寛明：日本精神科看護協会山形県支部「第 2 回研修会」,山形県山形市,2024.5
- 42). 安保寛明：株式会社銀山荘社員研修「配慮の難しい場面でのアンガーマネジメントと声のかけ方」,山形県尾花沢市,2024.5

- 43). 安保寛明：山形県令和6年度自殺対策推進事業説明会の助言,山形県山形市,2024.5
- 44). 安保寛明：山形県看護協会保健師助産師看護師実習指導者講習会「看護教育課程論 専門領域 精神看護学」,山形県山形市,2024.5
- 45). 安保寛明：東村矢那地区小中学校教頭研修会「生徒,高職員,保護者からのSOSの受け止め方,つなぎ方」,山形県天童市,2024.5
- 46). 安保寛明：長井市学校教育研修所特別研修会「児童生徒のSOSの受け止め方とつなぎ方」,山形県長井市,2024.5
- 47). 安保寛明：白鷹町立白鷹中学校「SOSの出し方講座」,山形県白鷹町,2024.5
- 48). 安保寛明：東根市健康づくり事業市立小中学校教員SOSの受け止め方教育研修会「SOSの受け止め方とつなぎ方」,山形県東根市,2024.5
- 49). 遠藤和子：山形県実習指導者講習会,山形県看護協会,山形県山形市,2024.5
- 50). 片桐智子：第35回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会 講義「実習における学生理解と指導者の役割」講師, 2024.5
- 51). 菊地圭子：母性看護学,令和6年度山形県看護実習指導者講習会,山形県看護協会,山形県山形市,2024.5
- 52). 今野浩之：令和6年度山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）,（助言講師）,山形県看護協会, 2024.5-6
- 53). 高谷新：出前授業,山形県立寒河江高等学校,山形県寒河江市, 2024.5
- 54). 沼澤さとみ：看護教育課程,令和6年度第35回山形県看護実習指導者講習会・第10回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）,山形県看護協会,山形県山形市, 2024.5
- 55). 山田カオル：令和6年度山形県看護実習指導者講習会「実習指導の評価：実習指導の評価の実際」講義, 2024.5
- 56). 山田カオル：令和6年度山形県看護協会 継続教育研修「やってみよう看護研究 ～「なぜ？」から発展する看護～」講義, 2024.5
- 57). 渡邊礼子：ママピラティス運営,天童市立天童南部公民館, 2024.5
- 58). 安保寛明：日本精神保健看護学会第34回学術集会・総会「一般演題」（座長）,千葉県成田市,2024.6
- 59). 安保寛明：遊佐町立遊佐中学校「SOSの出し方を学ぼう～ところが疲れた時にするといいこと～」,山形県遊佐町,2024.6
- 60). 安保寛明：南陽市立宮内中学校「SOSの出し方講座」,山形県南陽市,2024.6
- 61). 安保寛明：米沢市立第二中学校「SOSの出し方講座」,山形県米沢市,2024.6
- 62). 安保寛明：米沢市立第三中学校「SOSの出し方講座」,山形県米沢市,2024.6
- 63). 安保寛明：米沢市立第四中学校「SOSの出し方講座」,山形県米沢市,2024.6
- 64). 安保寛明：金山町立金山小学校「SOSの出し方講座」,山形県金山町,2024.6
- 65). 安保寛明：山形市立第五中学校「SOSの出し方教育」,山形県山形市,2024.6
- 66). 安保寛明：天童市立天童南部小学校「SOSの出し方教育」,山形県天童市,2024.6
- 67). 安保寛明：山形県教育相談関係研修会に係る講演「SOSの出し方・受け止め方について～ところに負担を感じた時にするといいこと～」,2024.6

- 68). 安保寛明：宮城県看護協会研修会「メンタルヘルスマネジメント」,宮城県石巻市,2024.6
- 69). 安保寛明：宮城県看護協会研修会「臨地実習指導に必要な基礎的知識1」,宮城県仙台市,2024.6
- 70). 安保寛明：宮城県看護協会研修会「メンタルヘルスマネジメント③」,宮城県大河原町,2024.6
- 71). 安保寛明：山形県看護協会研修卒後2年目対象研修「ストレスとメンタルヘルス」「心の健康アセスメント」「元気回復プラン」,山形県山形市,2024.6
- 72). 安保寛明：宮城県看護協会新卒新人研修会「メンタルヘルスマネジメント④」,宮城県大河原町,2024.6
- 73). 安保寛明：神奈川県看護協会「精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会」,2024.6
- 74). 遠藤和子：看護研究指導, 国立病院機構米沢病院, 山形県米沢市,2024.6
- 75). 貝瀬友希：病気の子どもへの看護, 模擬講義・個別進学相談, 大学進学等説明会, 米沢中央高等学校(山形県米沢市), 2024.6
- 76). 片桐智子：山形県立山形北高等学校大学進学等説明会講義「大学で学べる科学的看護」講師、2024.6
- 77). 菊地圭子：自分らしく生きる,いのちの学習,山形市立第一中学校, 山形県山形市,2024.6
- 78). 菊地圭子：思春期と健康,文部科学省スーパーサイエンス (SSH),山形県立東桜学館高等学校(山形県東根市),2024.6
- 79). 今野浩之：令和6年度山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会,(助言講師), 山形県看護協会, 2024.6
- 80). 齋藤愛依：演習助言講師, 山形県看護実習指導者講習会, 山形県看護協会, 山形県山形市, 2024.6
- 81). 高橋直美：酒田南高校大学等進学説明会, 山形県酒田市, 2024.6
- 82). 中村康香：「オンラインで受ける両親学級」の開催, Web 開催, 2024.6
- 83). 丸山香織：第34回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会 グループワーク助言講師 2024.6
- 84). 渡邊礼子：ママピラティス運営, 天童市立天童南部公民館, 2024.6
- 85). 安保寛明：天童市立第一中学校「SOS の出し方教育」,山形県天童市,2024.7
- 86). 安保寛明：天童市立第三中学校「SOS の出し方教育について」,山形県天童市,2024.7
- 87). 安保寛明：山形市立第三小学校「児童生徒の SOS の出し方教育」,山形県山形市,2024.7
- 88). 安保寛明：山形市立蔵王第一小学校「SOS の出し方教育」,山形県山形市,2024.7
- 89). 安保寛明：山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会) 研修講演「心豊かに幸齢期を過ごすための暮らしの工夫」,山形県山形市,2024.7
- 90). 安保寛明：山形県最上地区小中学校長会連絡協議会研修会「ワークエンゲイジメントを高めるマネジメント」,山形県新庄市,2024.7
- 91). 安保寛明：大石田町内小中学校教職員「SOS の受け止め方講座」,山形県大石田町,2024.7
- 92). 安保寛明：長野県自殺対策地域関係者研修会「SOS の出し方に関する教育及び SOS の受け止め方」, 長野県長野市,2024.7
- 93). 安保寛明：寒河江市立白岩小学校「SOS の出し方に関する教育」,山形県寒河江市,2024.7
- 94). 安保寛明：寒河江市立高松小学校「SOS の出し方に関する教育」,山形県寒河江市,2024.7

- 95). 安保寛明：米沢市市職員「気になる人への声のかけ方つなぎ方ゲートキーパーの役割について」,山形県米沢市,2024.7
- 96). 安保寛明：日本精神科医学会学術大会の演講「看護師・保健師による子供とその大人のメンタルヘルス教育」,宮城県仙台市,2024.7
- 97). 安保寛明：岩手県看護協会看護研修会「看護管理者のストレスマネジメント」,岩手県盛岡市,2024.7
- 98). 安保寛明：遊佐町職員ゲートキーパー養成研修会「ゲートキーパー研修～話を聴き寄り添う技法を身につける」,山形県遊佐町,2024.7
- 99). 安保寛明：山形県庄内地域精神障がい者地域生活移行支援事業ワーキンググループにおける助言,山形県三川町,2024.7
- 100). 安保寛明：日本看護福祉学会学術大会基調講演「子どもの SOS の出し方・受け止め方教育の実際」,福岡県北九州市,2024.7
- 101). 安保寛明：岩手県障がい者相談支援従事者初任者研修「相談支援の基本的視点 I・II」,岩手県盛岡市,2024.7
- 102). 安保寛明：中山町立豊田小学校「SOS の出し方教育」,山形県中山町,2024.7
- 103). 安保寛明：山形県地域別自殺対策推進検討会に係る助言,山形県 4 地域（村山・最上・置賜・庄内）,2024.7～9
- 104). 菊地圭子：高校 1 年生に知ってほしいいのちの話,いのちの学習,山形県立鶴岡工業高等専門学校,山形県鶴岡市,2024.7
- 105). 今野浩之：令和 6 年度 看護学科ホームカミングデー 発言者 山形県立保健医療大学,2024.7
- 106). 佐藤志保：（役員・企画運営）第 53 回山形県糖尿病教育スタッフ会研修会, 2024.7
- 107). 佐藤志保：ラジオモンスター「食中毒に気をつけましょう」2024.7
- 108). 沼澤さとみ：看護研究研修 I (研究計画等個別助言), 済生会山形済生病院, 山形市, 2024.7
- 109). 渡邊礼子：産後の母親学級（ベビペアサポーターズ）, 山形市男女共同参画センターファースト, 2024.7
- 110). 安保寛明：山形市立山寺小・中学校「SOS の出し方教育」,山形県山形市,2024.8
- 111). 安保寛明：寒河江市 PTA 連合会教育研修会「見逃さないで 子どものサイン～SOS サインを受け止められる大人に～」,山形県寒河江市,2024.8
- 112). 安保寛明：鶴岡市自殺対策計画関係課職員鶴岡市こころのサポーター研修「誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地のよい鶴岡市”の実現を目指して～市職員のこころのサポーターの役割～」,山形県鶴岡市,2024.8
- 113). 安保寛明：鶴岡市教職員・関連機関の職員こころの SOS 受け止め方研修「子どもの SOS を学校と地域で受け止めるために必要なこと」,山形県鶴岡市,2024.8
- 114). 安保寛明：山形市中学校教育研究会学校保険部会半日研修会「SOS の出し方・受け止め方について」,山形県山形市,2024.8
- 115). 貝野瀬友希：子どもの体調不良～こんなとき、どうする？～, 令和 6 年度山形県立保健医療大学公開講座, 山形県立保健医療大学, 山形県山形市, 2024.8
- 116). 片桐智子：山形県立保健医療大学看護体験セミナー 講義「アタマとこころ次第であなたも看護ができる！」講師, 2024.8

- 117). 菊地圭子：新しい家族を迎えるための看護,高校生を対象とした看護体験セミナー,山形県立保健医療大学, 山形県山形市,2024.8.
- 118). 今野浩之：精神障がいに関する学習会 講師「「地域で暮らす統合失調症を持つ方への理解を深める - 「回復」の経験を現象学的視点で捉え直す-」岩手県一関市,2024.8
- 119). 今野浩之：令和6年度 高校生を対象とした看護体験セミナー 講師「健康情報を正しく伝えるために」山形県立保健医療大学,2024.8
- 120). 菅原京子：令和6年度山形県新任保健師・栄養士研修会：地域の健康ニーズを把握しよう, 山形県庁, 山形県山形市, 2024.8
- 121). 高橋直美：台北護理健康大学交流プログラム, (日本文化紹介(茶道), 合同演習「自らの命を守るための災害への備え」, 出羽大谷保育園訪問・園児との交流), 2024.8
- 122). 丸山香織：山形県立保健医療大学看護体験セミナー 講義「アタマとこころ次第であなたも看護ができる」講師, 運営委員, 2024.8
- 123). 渡邊礼子：ママピラティス運営, 天童市立天童南部公民館, 2024.8
- 124). 安保寛明：宮城県看護協会実習指導者講習会「実習指導方法論②」,宮城県仙台市,2024.9
- 125). 安保寛明：山形県職員「若手職員対象メンタルヘルス研修会」,山形県本庁他4地域(村山・最上・置賜・荘内),2024.9
- 126). 安保寛明：山形県庄内地域精神障がい者地域生活移行支援事業ワーキンググループにおける助言,山形県三川町,2024.9
- 127). 安保寛明：山形県立山形西高等学校教員「生徒が発しているSOSの受け止め方」,山形県山形市,2024.9
- 128). 安保寛明：福島県看護協会福島県新人看護職員研修「新人のためのメンタルヘルス」,福島県郡山市,2024.9
- 129). 安保寛明：金沢大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻の「精神看護学特別講演」,石川県金沢市,2024.9
- 130). 安保寛明：宮城刑務所処遇部門担当職員「被収容者に対する対話(オープンダイアログ)の実践研修」,宮城県仙台市,2024.9
- 131). 安保寛明：山形県立霞城学園高等学校教職員「SOSの出し方教育の進め方について」,山形県山形市,2024.9
- 132). 遠藤和子：看護倫理について, 山形県立中央病院, 山形県山形市,2024.9
- 133). 菊地圭子：赤ちゃん誕生,いのちの学習,山形市立本沢小学校, 山形県山形市,2024.9
- 134). 菊地圭子：豊かな未来を生きるために～知っておきたい性といのちの話～,思春期講話,山形県立村山産業高等学校, 山形県村山市,2024.9
- 135). 佐藤志保：新庄徳洲会病院 看護研究相談支援, 2024.9
- 136). 菅原京子：栃木県支部研修会：保健師記録と開示請求～適切な保健師記録としくみづくりに向けて～, とちぎ健康の森, 栃木県宇都宮市, 2024.9
- 137). 富樫理恵：伝える?伝わる?私のキモチ・あなたのキモチ大集合!SS健康科学に係る体験学習, 山形県山形市, 2024.9
- 138). 中村康香：「オンラインで受ける両親学級」の開催, Web開催, 2024.9
- 139). 沼澤さとみ：看護研究研修Ⅱ(研究計画等個別助言), 済生会山形済生病院, 山形県山形市, 2024.9

- 140). 前田のぞみ：赤ちゃんの力（ちから）。山形県立東桜学館高校スーパーサイエンス健康科学に係る体験学習（SSH），山形県立保健医療大学，山形県山形市，2024.9
- 141). 蓬田伸一：「薬が『効く』ために必要なこと」。国立研究開発法人科学技術振興機構スーパーサイエンスハイスクール事業講師（山形県立東桜学館高等学校），本学，2024.9
- 142). 安保寛明：宮城県看護協会新卒新人研修会「生き生きと働き続けるために」,宮城県仙台市,2024.10
- 143). 安保寛明：東根市立第二中学校「SOS の出し方講座」～こころの守り方を知ることがよりよい未来につながる～,山形県東根市,2024.10
- 144). 安保寛明：寒河江市市職員・一般市民「SOS の出し方に関する教育・ゲートキーパー養成講座」,山形県寒河江市,2024.10
- 145). 安保寛明：沖縄県立総合精神保健福祉センター精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた支援者研修会「本人を支えるために皆ができること～本人の希望する暮らしとは～退院支援」,沖縄県南風原町,2024.10
- 146). 安保寛明：沖縄県精神保健福祉連合会精神保健福祉家族大会 2024 記念講演「SOS の出し方教育の取組 山形県における自殺者減少とつながりの意味」,沖縄県与那原町,2024.10
- 147). 安保寛明：村山市ゲートキーパー養成事業「子どもと家族」サポート講座「子どもとその家族（親）の SOS を受けとめる関わり」,山形県村山市,2024.10
- 148). 安保寛明：奥州市地域自立支援協議会奥州市共同生活援助事業所世話人研修会「世話人さんありがとう part2～今,ストレスメーター何目盛り？自分にもご苦労様しよう!!～」,岩手県奥州市,2024.10
- 149). 安保寛明：飯豊町町内企業「ゲートキーパー講習会」,山形県飯豊町,2024.10
- 150). 遠藤恵子：山形県立中央病院「論文作成・プレゼンテーション」，2024.10
- 151). 遠藤恵子：山形市男女共同参画センター 0 歳児から始める性教育，2024.10
- 152). 桂晶子：令和 6 年度 クアオルト・セラポイト養成講座，講師，山形県上市市，2024.10
- 153). 菊地圭子：楽しい未来を生きるために～知っておきたい性といのちの話～,いのちの学習,山形市立金井中学校，山形県山形市,2024.10
- 154). 今野浩之：独立行政法人国立病院機構山形病院付属看護学校（非常勤講師），山形県山形市，2024.10
- 155). 齋藤愛依：ラジオモンスター，ラジオクリニック「血圧高くなっていませんか？」，2024.10
- 156). 齋藤愛依：ラジオモンスター，ラジオクリニック「寒い時に上がりやすい血圧と生活の中で気をつけたいこと」，2024.10
- 157). 齋藤愛依：ラジオモンスター，ラジオクリニック「高血圧と減塩」，2024.10
- 158). 佐藤志保：日本糖尿病協会山形県支部 糖尿病週間 講演会，講師，2024.10
- 159). 中村康香：コペアレンティングとその支援，栃木県助産師会研修会,Web 開催，2024.10
- 160). 渡邊礼子：ママピラティス運営，天童市立天童南部公民館，2024.10
- 161). 渡邊礼子：進路ガイダンス，看護医療系学校別分科会，山形県立長井高校，2024.10
- 162). 安保寛明：飯豊町町役場職員「ゲートキーパー講習会」,山形県飯豊町,2024.11
- 163). 安保寛明：天童市立天童北部小学校「SOS の出し方教育」,山形県天童市,2024.11
- 164). 安保寛明：天童市立高橋小学校「SOS の出し方教育」,山形県天童市,2024.11

- 165). 安保寛明：河北町立河北中学校「SOS の出し方・受け止め方教育」,山形県河北町,2024.11
- 166). 安保寛明：山形県村山地域精神障がい者地域移行・地域定着推進にかかる意見交換会における助言,2024.11
- 167). 安保寛明：山形県養護教諭精神保健研修会「援助希求行動（SOS の出し方）の促進とその受け止め」,山形県山形市,2024.11
- 168). 安保寛明：山形県精神保健福祉センター心のサポーター養成に係るファシリテーター養成研修「心のサポーター養成研修を効果的に実施するために」,山形県山形市,2024.11
- 169). 安保寛明：天童市自殺対策計画人材育成ゲートキーパー養成講座「SOS に気づくために～あなたは誰かのゲートキーパー～」,山形県天童市,2024.11
- 170). 安保寛明：日本精神科看護協会山形県支部看護職者向け「コンコーダンス研修」,山形県山形市,2024.11
- 171). 安保寛明：寒河江市立三泉小学校「SOS の出し方に関する教育」,山形県寒河江市,2024.11
- 172). 安保寛明：法務省仙台矯正管内職員 要配慮被収容者処遇対応力向上研修「オープンダイアローグの手法や考え方を取り入れた対話実践について」,宮城県仙台市,2024.11
- 173). 安保寛明：山形県庄内地域精神障がい者地域生活移行支援事業ワーキンググループにおける助言,山形県三川町,2024.11
- 174). 安保寛明：社会福祉法人山形県社会福祉事業団「意思決定支援研修」,山形県山形市,2024.11
- 175). 遠藤和子：看護研究指導, 国立病院機構米沢病院, 山形県米沢市,2024.11
- 176). 片桐智子：山形県立新庄北高等学校令和6年度課題研究に関わる訪問, 講師, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 177). 桂晶子：令和6年度村山地域新任期保健師等研修会, 講師, 山形県山形市, 2024.11
- 178). 栗田敦子：さんぼう, 上山明新館高校 進路説明会, 看護師の仕事, 山形県上市市, 2024. 11
- 179). 栗田敦子：山形県, 令和6年度 山形県介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)および更新研修(実務経験者対象・専門研修課程Ⅱ)山形県老人福祉施設協議会, 「心疾患のある方のケアマネジメント」, 山形県山形市(庄内, Web 開催), 2024. 11
- 180). 栗田敦子：山形県, 令和6年度 山形県介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)および更新研修(実務経験者対象・専門研修課程Ⅱ)山形県老人福祉施設協議会(山形県からの委託事業)「心疾患のある方のケアマネジメント」, 山形県山形市(内陸B, Web 開催), 2024. 11
- 181). 今野浩之：独立行政法人国立病院機構山形病院付属看護学校(非常勤講師), 山形県山形市, 2024.11
- 182). 齋藤愛依：「根拠に基づく看護」「看護研究の基礎」, 小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム, 山形県立保健医療大学, 山形県山形市, 2024.11
- 183). 萱原京子：令和6年度村山地域新任期保健師等人材育成研修会：事例検討会の進め方, 村山保健所, 山形県山形市, 2024.11
- 184). 鈴木龍生：研究計画書の書き方, 令和5年度小規模病院等ブラッシュアッププログラム, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 185). 中村康香：「オンラインで受ける両親学級」の開催,, Web 開催, 2024.11
- 186). 沼澤さとみ：看護研究研修(研究データ分析等助言), 済生会山形済生病院, 山形県山形市, 2024.11

- 187). 前田のぞみ：(実行委員) 第46回山形県母性衛生学会, Web開催, 2024.11
- 188). 渡邊礼子：白鷹町“子育てをまなぶ・たのしむパパ教室”, 子育て支援センターにこぼーと, 2024.11
- 189). 渡邊礼子：食育イベント運営, 天童市仲町公民館, 2024.11
- 190). 青山真帆：「若手研究者の研究活動(アクティビティ)の推進に向けた取り組み」(学術委員会企画講演会), 福島県立医科大学看護学部, 福島県福島市, 2024.12
- 191). 安保寛明：社会福祉法人山形県社会福祉事業団「意思決定支援研修」, 山形県山形市, 2024.12
- 192). 安保寛明：山形県最上保健所最上地域自殺対策推進会議及び精神障がい者にも対応した地域包括ケア推進会議における助言, 山形県新庄市, 2024.12
- 193). 安保寛明：川西町学校教育研修所教職員全体研修会「SOSの出し方に関する教育の推進について」, 山形県川西町, 2024.12
- 194). 安保寛明：山形県置賜地域 地域共生社会シンポジウム「つながり・支えあいのあるまちづくりのために」(コーディネーター), 山形県南陽市, 2024.12
- 195). 安保寛明：岩手県社会福祉士会 岩手県障がい者相談支援従事者現任研修会「実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法」, 岩手県盛岡市, 2024.12
- 196). 安保寛明：寒河江市立柴橋小学校「SOSの出し方に関する教育」, 山形県寒河江市, 2024.12
- 197). 安保寛明：山形市立第五小学校「児童生徒のSOSの出し方教育」, 山形県山形市, 2024.12
- 198). 安保寛明：山形県立東桜学館中学校心の健康講話「SOSの上手な出し方」, 山形県東根市, 2024.12
- 199). 安保寛明：舟形町民生委員児童委員及びケアマネージャー「ゲートキーパーフォローアップ研修」, 山形県舟形町, 2024.12
- 200). 安保寛明：山形県村山保健所 村山地域精神障がい者地域移行・地域定着推進会議「村山が目指す『にも包括』～5年後を見据えて～」, 山形県村山市, 2024.12
- 201). 安保寛明：山形県入院者訪問支援事業訪問支援員養成研修, 山形県山形市, 2024.12
- 202). 安保寛明：宮城県看護協会保健師技能集会の講演「生き生きと働くために～保健師のメンタルヘルスを考える～」, 宮城県仙台市, 2024.12
- 203). 遠藤恵子：山形市第八小学校「いのちの学習」 2024.12
- 204). 栗田敦子：大学コンソーシアムやまがた事務局, 惺山高等学校 大学等進学説明会, 山形県山形市, 2024.12
- 205). 今野浩之：病院機構山形病院付属看護学校(非常勤講師), 山形県山形市, 2024.12
- 206). 菅原京子：備中保健所井笠支所管内保健従事者研修会：個別支援記録について学ぶ～長期支援ケースの記録で大切なこと～, Web開催, 2024.12
- 207). 菅原京子：令和6年度最上地域市町村等支援研修会(新任・中堅期)：事例検討会のすすめ方, 最上保健所, 山形県新庄市, 2024.12
- 208). 鈴木龍生：認知症と認知機能のアセスメント, クリニックナースのスキルアップ Webセミナー 看護 up to date, 山形県立保健医療大学(Web開催), 2024.12.
- 209). 鈴木龍生：入院者訪問支援事業 訪問支援員養成研修, 山形県庁, 山形県山形市, 2024.12

② 公的機関等の委員

安保寛明

- ・ 欧州精神医学会自殺予防分科委員会，委員
- ・ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構，専門委員
- ・ 日本精神衛生学会，理事・編集委員会副委員長
- ・ 日本看護科学学会，代議員
- ・ 日本精神保健看護学会，代議員
- ・ 山形県青少年健全育成審議会，委員
- ・ 天童市こころの健康推進審議会，委員
- ・ 山形市いのち支える山形市自殺対策協議会，委員・副座長
- ・ 特定非営利活動法人相双に新しい地域精神医療福祉システムをつくる会，理事
- ・ 日本精神衛生学会誌，編集委員・査読委員
- ・ Archives of Psychiatric Nursing, Reviewer
- ・ 日本看護科学学会，和文誌査読委員
- ・ 日本精神保健看護学会誌，査読委員
- ・ 日本精神科看護協会誌，査読委員
- ・ 日本看護学会誌，査読委員
- ・ 日本職業リハビリテーション学会誌，査読委員
- ・ 日本保健医療社会学会誌，査読委員

遠藤恵子

- ・ 山形県社会福祉審議会児童福祉専門分科会，委員
- ・ 山形県社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童処遇部会，委員
- ・ 子育てするなら山形県推進協議会，委員
- ・ 山形県立東桜学館高校 SSH 運営指導員
- ・ 寒河江市子ども・子育て支援推進会議，副委員長
- ・ 日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会母性看護専門分科会，委員
- ・ 日本母性看護学会，査読委員
- ・ 日本母性衛生学会，評議員・査読委員
- ・ 山形県母性衛生学会長

菅原京子

- ・ 山形県長寿医療懇談会，委員長
- ・ 山形県健康長寿推進協議会，委員
- ・ 寒河江市自殺対策計画推進委員会，委員長
- ・ 日本難病看護学会役員会
- ・ 日本難病看護学会，監事・査読委員・広報渉外委員会委員・難病看護師認定委員会実行委員
- ・ 日本看護学会学術集会，抄録選考委員
- ・ 北日本看護学会，査読委員

沼澤さとみ

- ・ 山形県ナースセンター事業運営委員会，委員

遠藤和子

- ・ 山形県糖尿病療養指導士認定委員会，委員
- ・ 日本糖尿病教育看護学会，査読委員
- ・ 日本看護学会，査読委員
- ・ 日本腎不全看護学会，査読委員
- ・ 北日本看護学会，評議員（～2024.8 まで），査読委員

桂晶子

- ・ 大和町介護保険運営委員会及び大和町地域包括支援センター運営協議会，委員長
- ・ 山形県国民健康保険運営協議会，委員
- ・ 日本公衆衛生看護学会，査読委員
- ・ 北日本看護学会，査読委員

菊地圭子

- ・ 日本母性看護学会，評議員・広報委員・研究助成選考委員
- ・ 山形県母性衛生学会，幹事
- ・ 山形県看護協会山形県助産師活用推進事業協議会，委員

中村康香

- ・ 日本看護科学学会，評議員
- ・ 日本看護科学学会，和文誌査読委員
- ・ 日本母性看護学会，理事，査読委員
- ・ 千葉看護学会，編集委員
- ・ 第27回日本母性看護学会学術集会，査読委員

青山真帆

- ・ Bio Med (BMC) Palliative Care Editorial Board Member
- ・ 日本緩和医療学会，国際交流委員
- ・ 日本緩和医療学会 Palliative Care Research 編集委員会，委員
- ・ 日本サイコオンコロジー学会遺族ケアガイドライン委員会，委員
- ・ 第30回日本緩和医療学会学術大会，組織委員
- ・ 第38回日本サイコオンコロジー学会総会緩和ケア分野プログラム，委員
- ・ 日本看護科学学会学術集会，和文誌専任査読者

鈴木育子

- ・ 日本県環境審議会，委員
- ・ 介護サービス苦情処理委員会，委員
- ・ 山形県在宅歯科医療連携室事業実行委員会，委員
- ・ 山形県献血推進協議会，委員
- ・ 日本ルーラルナーシング学会，評議員
- ・ 日本ルーラルナーシング学会，査読委員
- ・ 日本ルーラルナーシング学会，第7期前期指名理事
- ・ 日本ルーラルナーシング学会第19回学術集会，会長

今野浩之

- ・ 日本公衆衛生看護学会，査読委員
- ・ 日本公衆衛生雑誌，査読委員
- ・ 北日本看護学会，専任査読者
- ・ 山形県認定看護管理者教育運営委員会，委員

高橋直美

- ・ JANPU 災害連携教員

山田カオル

- ・ 東北社会学研究会誌『社会学研究』，編集委員長
- ・ 一般社団法人日本ウォーキングフットボール連盟，理事

槌谷由美子

- ・ 山形県看護協会，いのちの教育推進委員
- ・ 山形県准看護師試験委員会，委員

高谷新

- ・ 日本精神保健看護学会，社会貢献委員
- ・ 北日本看護学会，専任査読委員

渡邊礼子

- ・ 山形県母性衛生学会，幹事

佐藤志保

- ・ 山形県犯罪被害者等支援推進委員会，委員
- ・ 山形県糖尿病教育スタッフ会，役員
- ・ 山形県糖尿病療養指導士会，委員

富樫理恵

- ・ 日本エンドオブライフケア学会研究活動推進委員会，委員

齋藤愛依

- ・ 山形県がん登録情報利用等審議会，委員

栗田敦子

- ・ 令和6年度山形県介護支援専門員実務経験者対象研修事業，介護支援研修委員会，研修審査委員(学識経験者)
- ・ 令和6年度山形県介護支援専門員講師指導者養成研修等検討会，委員(学識経験者)

前田のぞみ

- ・ 山形県母性衛生学会，幹事

V. 外部資金取得

- 1). 青山真帆(研究代表者)：2023～2025年度 科学研究費助成事業(若手研究)。「遺族のうつ・複雑性悲嘆予測モデルの精度向上と自然言語処理技術の活用」。課題番号 23K16433
- 2). 安保寛明(研究代表者)：科学技術研究費補助金(基盤(B)) 看護師のワークエンゲイジメントの向上と休職者の復職定着を予測する因子
- 3). 安保寛明(分担研究者)：科学技術研究費補助金(基盤(C)) 看護職者のワークエンゲイジメントに関する職場の環境要因に関する研究(研究代表者：高谷新)
- 4). 安保寛明(分担研究者)：科学技術研究費補助金(基盤(C)) 看護師のメンタルヘルスケアのためのWRAP有用性の検証(研究代表者：矢山壮)
- 5). 安保寛明(分担研究者)：科学技術研究費補助金(基盤(C)) 精神科看護師の病棟から地域(精神科訪問看護)への移行のプロセスに関する研究(研究代表者：森真喜子)
- 6). 遠藤和子(研究代表者)：2022～2026年度科学研究費助成事業(基盤研究C)。「高齢腹膜透析患者の地元暮らしを支える看護-介護チームビルディングプログラムの開発」。課題番号 22K11176
- 7). 貝野瀬友希(研究代表者)：榎谷由美子(共同研究者)：北日本看護学会2024年度奨励研究。「子どもの入院に付き添う精神疾患やその既往を抱える親，及び看護師の関わりの実態に関する調査」
- 8). 梶理和子(研究代表者)：令和3年度～令和6年度(2021年度～2024年度)科学研究費助成事業(基盤研究(C))，研究課題名：長い18世紀の女性作家を中心とした近代商業社会と美的感覚の関係性の学際的研究。課題番号：21K00392
- 9). 梶理和子(研究分担者[研究代表者 阿部裕美])：令和3年度～令和6年度(2021年度～2024年度)科学研究費助成事業(基盤研究(C))，研究課題名：長い18世紀英国における商業社会の誕生と感受性の変容に関する学際的研究。課題番号：21K00406
- 10). 桂晶子(研究代表者)：萩原潤，出貝裕子(研究分担者)：令和3年度～令和6年度 科学研究費助成事業(基盤研究(C))「支援を求めない高齢者および家族介護者の潜在的ニーズの追究と支援モデルの構築」課題番号：21K11025

- 11). 菊地圭子 (研究代表者) : 令和2~6年度 科学研究費助成事業 (若手研究), 「トランスジェンダー学生が安全に安心して看護を学ぶための学習環境整備の検討」, 課題番号 00444927
- 12). 今野浩之 : 学術コンサルティング契約 (村山市 : 健康増進計画に係る市民健康調査)
- 13). 佐藤志保 : 科学研究費助成事業 基盤研究 (c) 2024-2027
- 14). 菅原京子 (研究代表者) : 課題番号 22H03417 科研費基盤研究 B (一般) リモート時代の「地元創成」推進と看護人材教育ー「ザ・山形プロジェクト」の挑戦ー
- 15). 鈴木龍生 (研究代表者) 安保寛明, 佐藤大輔, 高谷新, 宮本翔平, 岩澤敦史, 的場圭 : 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 日本の文化に適応した日本版リカバリー志向性尺度の開発 (24K13781), 日本学術振興会
- 16). 高橋直美 : 科研費 (若手研究)
- 17). 高谷新 (研究代表者) : 安保寛明 (研究分担者) : 令和3年度~令和8年度 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)) 「看護職者のワークエンゲイジメントに関する職場の環境要因に関する研究」, 課題番号 21K10688.
- 18). 高谷新 (研究分担者) : 令和3年度~令和8年度 科学研究費助成事業 (基盤研究 (B)) 「看護師のワークエンゲイジメントの向上と休職者の復職定着を予測する因子」, 課題番号 21H03234
- 19). 富樫理恵 : 北日本看護学会 奨励研究採択
- 20). 中村康香 : 文科省科研費 挑戦的研究(萌芽) 代表 : 親子愛着形成を評価する心拍変動の同期現象を可視化したツールを用いた相互作用介入
- 21). 中村康香 : 令和6年度山形県母性衛生学会 委託研究助成金 代表 : 子育てイベントにおけるモジュール版コペアレンティング促進プログラムの試行
- 22). 中村康香 : 令和6年度福島県立医科大学看護学科共同研究助成事業 分担 : コペアレンティングと共感セッションを融合したモジュール型出産前教育プログラム
- 23). ラムの開発と試行
- 24). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(B)代表 : 社会実装型コペアレンティング促進プログラムの育児と子どもの成長発達への効果検証
- 25). 中村康香 : 日本生命財団助成金 代表 : コペアレンティングが児の情緒的健康や社会的能力に及ぼす影響
- 26). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(C)分担 (代表者 : 山口典子) : 男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態
- 27). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(C)分担 (代表者 : アンガホッフア司寿子) : 挙児を希望する有配偶女性に対するリプロダクティブライフプランニング支援の構築
- 28). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(C)分担 20K10657 (代表者 : 林佳子) : 総合周産期母子医療センターにおける MFICU の病床管理と看護管理者の役割
- 29). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(C)分担 (代表者 : 大月恵理子) : 母体・胎児集中治療室に勤務する看護職のストレス
- 30). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(C)分担 (代表者 : 林ひろみ) : 高年初産夫婦への産後うつ予防のための妊娠期の介入効果検証
- 31). 中村康香 : 文科省科研費 基盤(B)分担 (代表者 : 吉沢豊予子) : 育児休業取得が父子の bonding、well-being への影響と育児休業中の育児関与教育の開発

- 32). 山田カオル：科研費 基盤研究 C（課題番号 22K10901）2022-2024 年度 人口減少地域における社会的処方地域資源創出：「山形産」アートワークショップ構築

VI. その他, 特記すべき事項

- 1). 安保寛明：訪問看護とアウトリーチによるインクルーシブな地域づくり, 精神医療 14 28-38,2024
- 2). 安保寛明：これからの精神衛生学会に期待すること, 日本精神衛生学会第 26 回学術集会抄録集,2024
- 3). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 37 回, こころの元気+ 18(1), 28-29, 2024
- 4). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 38 回, こころの元気+ 18(2), 28-29, 2024
- 5). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 39 回, こころの元気+ 18(3), 28-29, 2024
- 6). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 40 回, こころの元気+ 18(4), 26-27, 2024
- 7). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 41 回, こころの元気+ 18(5), 28-29, 2024
- 8). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 42 回, こころの元気+ 18(6), 28-29, 2024
- 9). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 43 回, こころの元気+ 18(7), 28-29, 2024
- 10). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 44 回, こころの元気+ 18(8), 28-29, 2024
- 11). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 45 回, こころの元気+ 18(9), 28-29, 2024
- 12). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 46 回, こころの元気+ 18(10), 28-29, 2024
- 13). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 47 回, こころの元気+ 18(11), 28-29, 2024
- 14). 安保寛明：じょうずにかわす怒りの気持ち 第 48 回, こころの元気+ 18(12), 28-29, 2024
- 15). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (46), 精神科看護 51 (1), 68-69, 2024
- 16). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (47), 精神科看護 51 (2), 68-69, 2024
- 17). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (48), 精神科看護 51 (3), 68-69, 2024
- 18). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (49), 精神科看護 51 (4), 68-69, 2024
- 19). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (50), 精神科看護 51 (5), 72-73, 2024
- 20). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく (51), 精神科看護 51 (6), 70-71, 2024
- 21). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(52), 精神科看護 51 (7), 74-75, 2024
- 22). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(53), 精神科看護 51 (8), 74-75, 2024

- 23). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(54), 精神科看護 51 (9), 76-77, 2024
- 24). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(55), 精神科看護 51 (10), 76-77, 2024
- 25). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(56), 精神科看護 51 (11), 70-71, 2024
- 26). 安保寛明：学の視点から精神保健(メンタルヘルス)で地域をひらく(57), 精神科看護 51 (12), 70-71, 2024
- 27). 菅原京子：看護実践研究センターの地元ナース事業の講師活動：小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム「看護の動向と課題」3コマ、「地域密着連携」1コマ、「看護研究の基礎」3コマ。相互交流で実習の組立に関して4コマ。Jナースカフェ1回。
- 28). 半田直子：看護基礎教育でシミュレータを使用したフィジカルアセスメント論, 山形県看護教育協議会会誌 44号 2024; 6-9.
- 29). 山田カオル：R6 学内共同研究費（若手研究者）
- 30). 山田カオル：日本サッカー協会ウォーキングフットボールコーディネーター講習会@山形企画運営
- 31). 高橋直美：山形発・地元ナース看護師養成プログラム看護実践研究センター運営委員会 地元ナース事業部会小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムの企画・運営・調整 2024.1~12
- 32). 高橋直美：日本災害医学会主催 BHELP セミナー（講師・インストラクター），web 開催，2024.1
- 33). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，山形県立保健医療大学看護学科とは，2024.4
- 34). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，妊娠と仕事，2024.4
- 35). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，育児や親になる準備，2024.4
- 36). 鈴木龍生：5月病に気を付けよう，FM 山形 ラジオモンスター，2024.5
- 37). 鈴木龍生：5月病と適応障害，FM 山形 ラジオモンスター，2024.5
- 38). 鈴木龍生：環境に適応するために～自分の特性を知ること～，FM 山形 ラジオモンスター，2024.5
- 39). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，妊娠中の口腔ケア，2024.6
- 40). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，今年も熱中症に気をつけよう，2024.6
- 41). 遠藤恵子：ラジオモンスター ラジオクリニック，性の多様性って何？2024.6
- 42). 高橋直美：山形市消防本部主催応急手当入門コース（応急手当指導員），山形斎場（山形県山形市），2024.6
- 43). 高橋直美：山形市消防本部主催応急手当入門コース（応急手当指導員），山形西消防署（山形県山形市），2024.7
- 44). 高橋直美：日本災害医学会主催 BHELP セミナー（講師・インストラクター），新潟大学，2024.7
- 45). 安保寛明：みみより！解説（NHK 総合）2024.8
- 46). 安保寛明：やままる（NHK 山形放送局），2024.8
- 47). 遠藤和子：①ACP の研修会に参加してきました②山形県糖尿病療養指導士認定講習会と試験のご案内③山形県糖尿病療養支援士の資格取得について，ラジオクリニック．ラジオモンスター，2024.8

- 48). 高橋直美：ターミナルケア教育の現状と課題，山形のターミナルケアを考える会第109回勉強会，山形県生涯学習センター遊学館（山形県山形市），2024.8
- 49). 中村康香：ラジオモンスター ラジオクリニック，ペアレンティング：子どもの未来をともに支える新しい家族のカタチ,2024.9
- 50). 中村康香：ラジオモンスター ラジオクリニック，パパも悩む時代へ：男性が抱える産後うつの実態，2024.9
- 51). 中村康香：ラジオモンスター ラジオクリニック，妊娠中でも輝く！家庭と職場のバランスを取るための戦略，2024.9
- 52). 中村康香：ディスカッサント，フィンランド、ポルトガル、日本の子育てのカタチ：第一子を妊娠、出産した夫妻たちの国際比較，2024年度東京国際交流館国際シンポジウム（東京都江東区），2024.9
- 53). 栗田敦子：ラジオモンスター 秋の花粉症にご注意ください，2024.10
- 54). 栗田敦子：ラジオモンスター スポーツの日によせて，2024.10
- 55). 栗田敦子：ラジオモンスター 薬は正しく使いましょう，2024.10
- 56). 鈴木龍生、鈴木茉優：日本精神科訪問看護協会主催 精神科訪問看護勉強会「ASDの感覚を知ろう～知識の視点と知恵の視点～」,Web開催，2024.12

看護実践研究センター (2024年)

※看護学科業績の再掲

I. 学会・研究会発表

① 国内学会・研究会など

- 1). 菅原京子, 今野浩之, 佐藤志保, 栗田敦子, 西村ユミ, 平澤則子, 高橋直美, 望月由紀, 遠藤恵子, 安保寛明, 齋藤愛依, 樋谷由美子, 沼澤さとみ: 地元創成看護がらの IT 活用探究—地域保健医療で「人に優しい IT 化」を進めるスウェーデンに学ぶ—。第 44 回日本看護科学学会学術集会, (熊本県熊本市), 2024.12

II. 学会・講演会・シンポジウムなどの主催

- 2). 菊地圭子 (委員): 令和 5 年度第 2 回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.1
- 3). 菊地圭子 (委員), 前田のぞみ: 令和 6 年度第 1 回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.10
- 4). 菊地圭子 (委員), 前田のぞみ: 令和 6 年度第 2 回山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会, 山形県立保健医療大学, 2024.12

III. 社会貢献, 地域貢献

① 公開講座, 講演会, 研修会, 講習会, 高校への出張講義などの講師

- 1). 山田カオル: 看護実践研究センター教育力向上セミナー 看護職者の洞察力を高める演習の展開「非日常性課題から抽象性を育てる—ブロックで考える私たちの 2030 年—」2024.2
- 2). 片桐智子: 山形県立保健医療大学看護体験セミナー 講義「アタマとこころ次第であなたも看護ができる!」講師, 2024.8
- 3). 菊地圭子: 新しい家族を迎えるための看護, 高校生を対象とした看護体験セミナー, 山形県立保健医療大学, 山形県山形市, 2024.8.
- 4). 今野浩之: 令和 6 年度 高校生を対象とした看護体験セミナー 講師「健康情報を正しく伝えるために」山形県立保健医療大学, 2024.8
- 5). 丸山香織: 山形県立保健医療大学看護体験セミナー 講義「アタマとこころ次第であなたも看護ができる」講師, 運営委員, 2024.8
- 6). 齋藤愛依: 「根拠に基づく看護」「看護研究の基礎」, 小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム, 山形県立保健医療大学, 山形県山形市, 2024.11
- 7). 鈴木龍生: 研究計画書の書き方, 令和 5 年度小規模病院等ブラッシュアッププログラム, 山形県立保健医療大学, 2024.11
- 8). 鈴木龍生: 認知症と認知機能のアセスメント, クリニックナースのスキルアップ Web セミナー 看護 up to date, 山形県立保健医療大学 (Web 開催), 2024.12.

IV. その他, 特記すべき事項

- 1). 菅原京子: 看護実践研究センターの地元ナース事業の講師活動: 小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム「看護の動向と課題」3 コマ, 「地域密着連携」1 コマ, 「看護研究の基礎」3 コマ。相互交流で実習の組立に関して 4 コマ。J ナースカフェ 1 回。
- 2). 高橋直美: 山形発・地元ナース看護師養成プログラム看護実践研究センター運営委員会 地元ナース事業部会小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムの企画・運営・調整 2024.1~12

理学療法学科
(2024 年)

I. 研究業績

① 著書（共著）

- 1). 加藤造. 変形性股関節症. 市橋則明（編）. 図解理学療法技術ガイド（第5版）. 東京：文光堂；2024. 587-594.

② 原著論文等・総説

- 1). Uno T, Mura N, Yuki I, Oishi R, Takagi M. The effect of continuous interscalene brachial plexus block for arthroscopic rotator cuff repair. *Asia-Pacific Journal of Sports Medicine, Arthroscopy Rehabilitation and Technology*. 2024; 36: 6-12.
- 2). Morikawa T, Mura N, Sato T, Katoh H. Validity of the estimated angular information obtained using an inertial motion capture system during standing trunk forward and backward bending. *BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation*. 2024; 16: 154. doi: 10.1186/s13102-024-00942-1
- 3). Morikawa T, Mura N, Sato T, Katoh H. Reliability and validity of estimated angles information assessed using inertial measurement unit-based motion sensors. *Bio-Medical Materials and Engineering*. 2024; 35(5): 439-450. doi: 10.3233/BME-240031
- 4). Sugawara-Komatsu K, Fujii T, Kurozumi S, Ishikawa H, Katayama A, Handa T, Tougou M, Sano T, Matsumoto H, Kurosumi M, Horiguchi J, Shirabe K, Oyama T. Significance of MUC1 and β -Catenin Localization in Mucinous Carcinoma of the Breast. *Anticancer Res*. 2024 Jun; 44(6):2689-2698.
- 5). Wannigama DL, Amarasiri M, Phattharapornjaroen P, Hurst C, Modchang C, Chadsuthi S, Anupong S, Miyanaga K, Cui L, Fernandez S, Huang AT, Ounjai P, Singer AC, Ragupathi NKD, Sano D, Furukawa T, Sei K, Leelahavanichkul A, Kanjanabuch T, Chatsuwat T, Higgins PG, Nanbo A, Kicic A, Siow R, Trowsdale S, Hongsing P, Khatib A, Shibuya K, Abe S, Ishikawa H; Pathogen Hunters Research Team. Increased faecal shedding in SARS-CoV-2 variants BA.2.86 and JN.1. *Lancet Infect Dis*. 2024 Jun; 24(6): e348-e350.
- 6). Wannigama DL, Hurst C, Phattharapornjaroen P, Hongsing P, Sirichumroonwit N, Chanpiwat K, Rad S M AH, Storer RJ, Ounjai P, Kanthawee P, Ngamwongsatit N, Kupwiwat R, Kupwiwat C, Brimson JM, Devanga Ragupathi NK, Charuluxananan S, Leelahavanichkul A, Kanjanabuch T, Higgins PG, Badavath VN, Amarasiri M, Verhasselt V, Kicic A, Chatsuwat T, Pirzada K, Jalali F, Reiersen AM, Abe S, Ishikawa H. COVID-EarlyMed Trial Team. Early treatment with fluvoxamine, bromhexine, cyproheptadine, and niclosamide to prevent clinical deterioration in patients with symptomatic COVID-19: a randomized clinical trial. *EClinicalMedicine*. 2024 Mar 14; 70 :102517.
- 7). Wannigama DL, Amarasiri M, Phattharapornjaroen P, Hurst C, Modchang C, Chadsuthi S, Anupong S, Miyanaga K, Cui L, Werawatte WKCP, Ali Hosseini Rad SM, Fernandez S, Huang AT, Vatanaprasan P, Saethang T, Luk-In S, Storer RJ, Ounjai P, Tacharoenmuang R, Ragupathi NKD, Kanthawee P, Cynthia B, Besa JJV, Leelahavanichkul A, Kanjanabuch T, Higgins PG, Nanbo A, Kicic A, Singer AC, Chatsuwat T, Trowsdale S, Furukawa T, Sei K, Sano D, Ishikawa H, Shibuya K, Khatib A, Abe S, Hongsing P. Wastewater-based epidemiological surveillance of SARS-CoV-2 new variants BA.2.86 and offspring JN.1 in South and Southeast Asia. *J Travel Med*. 2024 Jun 3; 31(4): taae040.
- 8). Anupong S, Chadsuthi S, Hongsing P, Hurst C, Phattharapornjaroen P, Rad S M AH, Fernandez S, Huang AT, Vatanaprasan P, Saethang T, Luk-In S, Storer RJ, Ounjai P, Devanga Ragupathi NK, Kanthawee P, Ngamwongsatit N, Badavath VN, Thuptimandang W, Leelahavanichkul A, Kanjanabuch T, Miyanaga K, Cui L, Nanbo A, Shibuya K, Kupwiwat R, Sano D, Furukawa T, Sei K, Higgins PG, Kicic A, Singer AC, Chatsuwat T, Trowsdale S, Abe S, Ishikawa H, Amarasiri M, Modchang C, Wannigama DL. Exploring indoor and outdoor dust as a potential tool for detection and monitoring of COVID-19 transmission. *iScience*. 2024 Jan 26; 27(3): 109043.

- 9). Shein AMS, Wannigama DL, Hurst C, Monk PN, Amarasiri M, Wongsurawat T, Jenjaroenpun P, Phattharapornjaroen P, Ditcham WGF, Ounjai P, Saethang T, Chantaravisoot N, Badavath VN, Luk-In S, Nilgate S, Rirerm U, Srisakul S, Kueakupattana N, Laowansiri M, Rad SMAH, Wacharapluesadee S, Rodpan A, Ngamwongsatit N, Thammahong A, Ishikawa H, Storer RJ, Leelahavanichkul A, Ragupathi NKD, Classen AY, Kanjanabuch T, Pletzer D, Miyanaga K, Cui L, Hamamoto H, Higgins PG, Kicic A, Chatsuwan T, Hongsing P, Abe S. Phage cocktail amikacin combination as a potential therapy for bacteremia associated with carbapenemase producing colistin resistant *Klebsiella pneumoniae*. *Sci Rep*. 2024 Nov 22; 14(1): 28992.
- 10). Shein AMS, Hongsing P, Smith OK, Phattharapornjaroen P, Miyanaga K, Cui L, Ishikawa H, Amarasiri M, Monk PN, Kicic A, Chatsuwan T, Pletzer D, Higgins PG, Abe S, Wannigama DL. Current and novel therapies for management of *Acinetobacter baumannii*-associated pneumonia. *Crit Rev Microbiol*. 2024 Jul 1: 1-22.
- 11). Watanabe J, Furukawa S, Yamamoto Y, Kato A, Kusumoto K, Takeshita E, Ikeda Y, Yamamoto N, Saeki Y, Miyake T, Yoshida O, Hiasa Y. Exercise Habits, Including Exercising With Partners, and the Prevalence of Self-Reported Constipation in Young Japanese People. A Cross-Sectional Study. *CUREUS Journal of Medical Science*. 2024.11; 16(11): e74455.
- 12). Yamamoto Y, Furukawa S, Miyake T, Watanabe J, Nakamura Y, Taguchi Y, Yamamoto T, Kato A, Kusumoto K, Yoshida O, Takeshita E, Ikeda Y, Yamamoto N, Saeki Y, Yamaguchi O, Hiasa Y. Multimorbidity of Allergic Diseases Is Associated With Functional Gastrointestinal Disorders in a Young Japanese Population. *Journal of neurogastroenterology and motility*. 2024.4; 30(2): 229-235.
- 13). Minamisawa T, Chiba N, and Suzuki E. Differences in Left and Right Lower Limb Control Strategies in Coping with Visual Tracking Tasks during Bipedal Standing. *Frontiers in Sports and Active Living*. 2024; 6: 1421881.
- 14). 加藤 浩. 運動器理学療法に焦点を当てた質の高いエビデンス構築にむけて. *運動器理学療法学*. 2024 ; 4 : 1-2.
- 15). 加藤 浩. エビデンスも活用した下肢運動器疾患患者に対する理学療法の進め方. *理学療法*. 2024 ; 41 : 772-780.
- 16). 新宮 恵, 村成 幸, 大石 隆太, 永井 淳, 宇野 智洋, 櫻田 香. 鏡視下腱板修復術を受ける患者の術前飲水量が末梢灌流量及び自律神経活動に与える影響. *肩関節*. 2024 ; 48 : 390-394.
- 17). 鈴木 真央, 村成 幸, 大石 隆太, 永井 淳, 宇野 智洋, 結城 一声, 高木 理彰. 外旋制限を伴う腱板断裂は修復術後も残存し, 術後成績を低下させる. *肩関節*. 2024 ; 48 : 369-373.
- 18). 永井 淳, 村成 幸, 宇野 智洋, 大石 隆太, 結城 一声, 高木 理彰. 鏡視下腱板修復術を受ける患者の肩痛の程度とその関連因子の検討. *肩関節*. 2024 ; 48 : 304-307.
- 19). 大石 隆太, 村成 幸, 星川 恭賛, 宇野 智洋, 高木 理彰. 腱板断裂患者の肩峰骨頭間距離には棘下筋の収縮性が関与する. *肩関節 Proceeding*. 2024 ; 48 : 495.
- 20). 槇 瑞穂, 星川 恭賛, 浦山 樹, 村成 幸. 投球動作による肩内旋可動域制限が改善するとパフォーマンスは向上するか. *日本スポーツ整形外科学会誌*. 2024 ; 1 : 149-150.
- 21). 高橋 保雅, 目見田 洋輔, 高橋 真司, 谷内 幸喜, 渡部 潤一. 当院で行っている生活期の装具フォローの現状. 課題の明確化とその解決策. *四国理学療法士会学会誌*. 2024 ; 45 : 114-115.

II. 学会・研究会発表

A) 国際学会・研究会など

- 1). Hoshikawa K, Prado M, Yuri T, Mura N, Giambini H: Shoulder position influences the strain distribution in the rotator cuff tendons. Orthopaedic Research Society 2024 annual meeting, Long Beach, USA; 2024 Feb.
- 2). Hoshikawa K, Yuri T, Mura N, Giambini H: Functional contribution of the supraspinatus muscle subregions during forward flexion training: Orthopaedic Research Society 2024 annual meeting, Long Beach, USA; 2024 Feb.
- 3). Oishi R, Mura N, Hoshikawa K, Uno T, Takagi M: Involvement of infraspinatus muscle contractility in the acromio-humeral distance during shoulder abduction in rotator cuff tear patients. Orthopaedic Research Society 2024 annual meeting, Long Beach, USA; 2024 Feb.
- 4). Nito M, Kudo D, Koseki, Tanabe S, Yamaguchi T: Transcutaneous Spinal Random Noise Stimulation Facilitates Motor Memory Consolidation in Healthy Individuals. The International Society of Electrophysiology & Kinesiology Congress (XXIV), Nagoya (Japan), 2024 Jun.
- 5). Nito M, Kudo D, Koseki T, Tanabe S, Yamaguchi T: Transcutaneous Spinal Random Noise Stimulation Enhances Motor Memory Consolidation in Healthy Individuals. Society for Neuroscience 2024, Chicago (US), 2024 Oct.
- 6). Kudo D, Nito M, Kikuchi A, Tanabe S, Yamaguchi T: Individualized beta-band oscillatory theta burst stimulation over the primary motor cortex enhances corticospinal excitability in healthy individuals. 7th Taiwan International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders, Taipei (Taiwan), 2024 Nov. (Travel Grant Award)
- 7). Sato T, Kawakatsu Y, Takahata M, Kudo D, Satake S, Eakman AM: Factors Affecting Sleep Quality in University of Health Sciences Students. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo (Japan), 2024 Nov.

B) 国内学会・研究会など

- 1). 長瀬貴明, 原田幹生, 宇野智洋, 丸山真博, 佐竹寛史, 村成幸, 高原政利, 高木理彰: 小学・中学・高校の野球選手における睡眠不良の実態とその要因についての検討. 第 97 回日本整形外科学会学術総会, 福岡県福岡市, 2024.5.
- 2). 山口翼, 加藤浩: 一側上肢の腕振り制限が歩行時の脊柱回旋角度に及ぼす影響. 第 32 回山形県理学療法学術大会, 山形県山形市, 2024.6.
- 3). 小形拓也, 村成幸, 佐竹寛史, 大石隆太, 結城一声, 高木理彰: 2 時間の側臥位で腋窩神経麻痺を生じた遺伝性圧脆弱性ニューロパチーの 1 例. 第 34 回東北肩関節研究会, 宮城県仙台市, 2024.6.
- 4). 渡部潤一, 古川慎哉, 日浅陽一: 若年層における運動習慣の頻度、強度、パートナーを伴う運動習慣は、月経困難症と負の関連にある. 第 26 回日本運動疫学会学術総会, 長野県佐久市, 2024.6.
- 5). 慶徳民夫, 丹野克子: 小学生を対象にした ICF 概念に基づく障害理解の知識化への取り組み. 第 32 回日本健康教育学術集会, 長野県長野市, 2024.7.
- 6). 岡澤和哉, 藤田努, 奈須勇樹, 川原慎也, 濱井敏, 加藤浩: 人工膝関節全置換術後の自動車運転に必要なブレーキ反応時間に関連する因子の検討. 第 33 回福岡県理学療法士学会, 福岡県福岡市, 2024.7.
- 7). 丹野克子, 慶徳民夫: 2 年間の障害理解教育授業を経た小学生における障害児者への態度と関心の特徴, 長野, 2024.7.
- 8). 斎藤優菜, 鈴木克彦, 平田那奈, 井澤叶, 室伏祐介: 扁平足の機能的インソールが片脚着地時の膝関節アライメントと下肢筋活動に及ぼす影響. 第 12 回日本運動器理学療法学術大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.

- 9). 平田那奈, 室伏祐介, 斎藤優菜, 井澤叶, 鈴木克彦:異なる膝関節肢位による下腿三頭筋の弾性率について. 第12回日本運動器理学療法学会大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.
- 10). 松田友秋, 加藤浩:慣性モーションセンサーを用いた外部膝関節内転モーメントの時間積分値と立脚中期最小値の推定. 第12回日本運動器理学療法学会大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.
- 11). 嶋村剛史, 加藤浩:高齢健常者と股関節外傷術後患者における歩行, 起立・着座動作速度と質的指標の関係. 第12回日本運動器理学療法学会大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.
- 12). 辛嶋良介, 井原拓哉, 羽田清貴, 岸本進太郎, 加藤浩, 本山達男, 川島真人:変形性膝関節症患者における歩行時時の膝関節側方加速度とJKOMとの関連性. 第12回日本運動器理学療法学会大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.
- 13). 山口翼, 加藤浩:一側上肢及び下肢の非対称性歩行が脊柱回旋運動に及ぼす影響. 第12回日本運動器理学療法学会大会, 神奈川県横浜市, 2024.9.
- 14). 高橋一平, 椿颯太, 星川恭賛, 村成幸:投球70球と直後のストレッチングが肩回旋可動域・筋力に及ぼす影響. 第2回日本スポーツ整形外科学会学会学術集会, 東京都港区, 2024.9.
- 15). 椿颯太, 高橋一平, 星川恭賛, 村成幸:投球70球後のストレッチングが棘下筋・広背筋・僧帽筋の筋硬度に及ぼす影響. 第2回日本スポーツ整形外科学会学会学術集会, 東京都港区, 2024.9.
- 16). 伊藤愛, 阿部美波, 赤塚清矢:健常若年男性における1日当り8,000歩を基準にした生活習慣の違い. 第42回東北理学療法学会大会, 青森県青森市, 2024.9.
- 17). 阿部美波, 伊藤愛, 赤塚清矢:健常若年男性の日常生活における身体活動量別の自律神経活動の違い—能動的起立試験における検討—. 第42回東北理学療法学会大会, 青森県青森市, 2024.9.
- 18). 大石隆太, 村成幸, 宇野智洋, 高木理彰:肩腱板断裂術後の肩峰骨頭間距離に棘下筋収縮性が関与する. 第39回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京都新宿区, 2024.10.
- 19). 鈴木真央, 村成幸, 小関匡史, 大石隆太, 永井惇, 新宮恵, 宇野智洋, 結城一声, 高木理彰:拘縮を伴う鏡視下腱板修復術後に屈曲制限を呈する症例の検討. 第51回日本肩関節学会学術集会, 京都府京都市, 2024.10.
- 20). 永井惇, 村成幸, 宇野智洋, 大石隆太, 結城一声, 高木理彰:鏡視下腱板修復術前の肩痛の程度と関連する身体所見の検討. 第51回日本肩関節学会学術集会, 京都府京都市, 2024.10.
- 21). 星川恭賛, 由利拓真, 村成幸, Giambini H:腱板断裂における残存腱板筋の代償的作用の検証. 第51回日本肩関節学会学術集会, 京都府京都市, 2024.10.
- 22). 新宮恵, 村成幸, 大石隆太, 永井惇, 櫻田香:鏡視下肩腱板修復術患者の術前体組成と静脈還流量. 第51回日本肩関節学会学術集会, 京都府京都市, 2024.10.
- 23). 大石隆太, 村成幸, 星川恭賛, 宇野智洋, 高木理彰:腱板術後に棘下筋収縮性が改善すると肩峰骨頭間距離が保持される. 第51回日本肩関節学会学術集会, 京都府京都市, 2024.10.
- 24). 辛嶋良介, 羽田清貴, 井原拓哉, 岸本進太郎, 加藤浩, 本山達男, 川島真人:内側半月板損傷患者におけるBone marrow lesionsの有無による膝関節側方動揺の相違. 九州理学療法士学術大会2024 in 佐賀, 佐賀県佐賀市, 2024.11.
- 25). 嶋村剛史, 加藤浩:高齢健常者と退院準備期における股関節外傷術後患者の歩行動作速度とHarmonic Ratioの関係. 九州理学療法士学術大会2024 in 佐賀, 佐賀県佐賀市, 2024.11. (優秀賞受賞)
- 26). 村成幸, 大石隆太:反復性肩関節前方脱臼における鏡視下人工骨移植術の経験. 第124回山形整形外科セミナー, 山形県山形市, 2024.11.

III. 学会・講演会・シンポジウムなどの主催

- 1). 鈴木栄三郎（準備委員）：第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 山形，山形県山形市，2024.6.
- 2). 鈴木栄三郎（準備委員 企画部）：第32回山形県理学療法学術大会，山形県山形市，2024.6.

IV. 社会貢献・地域貢献

① 公開講座・講演会・研修会・講習会・高校への出張講義などの講師

- 1). 工藤大輔：理学療法各論，こころとからだの理解（リハビリテーション分野），山形県立山辺高等学校，山形県山辺町，2024.2.
- 2). 石川仁：鶴岡市立荘内看護専門学校 非常勤講師，山形県鶴岡市，2024.5～2025.2.
- 3). 加藤浩：【リハビリテーションシンポジウム講演】理学療法における評価，アウトカム指標の標準化と問題．第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 講師，東京都渋谷区，2024.6.
- 4). 加藤浩：臨床に役立つ歩行分析．第59回日本理学療法学術研修会講師，東京都千代田区，2024.6.
- 5). 石川仁：宮城大学 非常勤講師，宮城県黒川郡大和町，2024.6.
- 6). 丹野克子：「適切なケアマネジメントにおける『基本ケア』と『疾患別ケア』について．山形県介護支援専門員協会山形地区支部研修会講師，山形県山形市，2024.7.
- 7). 村成幸：放っておいても治らない肩の痛み．2024年度第2回山形県立保健医療大学公開講座講師，山形県山形市，2024.8.
- 8). 丹野克子：「多職種連携」．山形県社会福祉事業団 PT・OT 研修会講師，山形県山形市，2024.8.
- 9). 赤塚清矢：健康と生活を支える理学療法．令和6年度 山形県立東桜学館高等学校 SSH 事業連携講座講師，山形県山形市，2024.8.
- 10). 永瀬外希子：「SS健康科学」山形県立保健医療大学体験学習，山形県山形市，2024.9.
- 11). 加藤浩：下肢関節疾患の歩行分析と理学療法介入の実際．青森県理学療法士会主催研修会講師，青森県三戸郡五戸町，2024.10.
- 12). 加藤浩：未来を拓く若き君たちへ 理学療法を究める・極める．清流会勉強会講師，山形県山形市，2024.10.
- 13). 渡部潤一：「高校生に知ってほしい健康知識について - 男女の性差についても考える -」．山形県立東桜学館高等学校令和5年度 SS 健康科学講師，山形県立東桜学館高等学校，山形県東根市，2024.10.
- 14). 赤塚清矢：健康と生活を支える理学療法．令和6年度 山形県立中央高等学校大学等進学説明会，山形県山形市，2024.10.
- 15). 加藤浩：知っておきたい評価法 動作解析のポイント．日本運動器理学療法学会臨床研究推進セミナー講師，Web 開催，2024.11.
- 16). 石川仁：公益社団法人 山形県看護協会 IHEAT 研修会講師，山形県米沢市，2024.11.
- 17). Mura N.：Shoulder Advance Instructional Course: instructor. Singapore. 2024 Nov
- 18). 永瀬外希子：第5回ケアマネージャー等研修会講師，山形県川西町．2024.11.

- 19). 工藤大輔：第15回山形県手話通訳者養成講座講師，山形県山形市，2024.11.
- 20). 石川仁：公益社団法人山形県看護協会 IHEAT 研修会講師，山形県三川町，2024.12.
- 21). 丹野克子：山形市立第三中学校生徒への模擬授業，山形県山形市，2024.5.

② 公的機関等の委員

鈴木克彦

- ・ 東北理学療法学会，論文査読委員
- ・ 山形理学療法学会，論文査読委員

加藤浩

- ・ 一般財団法人大学教育質保証・評価センター，2024年度大学機関別認証評価 専門委員
- ・ 公益社団法人日本理学療法士協会運動器認定試験作問部会，部会長
- ・ 一般社団法人日本運動器理学療法学会，副理事長
- ・ 理学療法ジャーナル，編集委員
- ・ 日本運動器理学療法学会学術誌，副編集長
- ・ 臨床歩行分析研究会学術雑誌，査読委員
- ・ 東北理学療法学会，査読委員

石川仁

- ・ 日本公衆衛生雑誌，査読委員

村成幸

- ・ Journal Orthopaedic Sciences，査読委員
- ・ 日本肩関節学会，代議員
- ・ 日本スポーツ整形外科学会，代議員
- ・ 東北肩関節研究会，幹事

渡部潤一

- ・ 日本予防理学療法学会学術誌，編集委員
- ・ リハビリテーション教育研究，査読委員
- ・ 日本理学療法士協会，東北ブロック協議会査読委員

丹野克子

- ・ 山形県自立支援型地域ケア会議，助言者
- ・ 山形県高齢者・障がい者虐待防止会議，委員
- ・ 山形県難病医療等連絡協議会，委員
- ・ 山形県認知症施策推進協議会，委員
- ・ 村山地域保健医療協議会（村山地域医療構想調整会議）在宅医療専門部会，委員
- ・ 村山地域難病対策地域協議会，委員
- ・ 山形市建築審査会，委員
- ・ 山形市高齢者虐待防止連絡協議会，委員
- ・ 山形市介護人材確保推進協議会，委員
- ・ 山形市地域包括ケア推進協議会，委員
- ・ 鶴岡市，ケアプラン点検アドバイザー
- ・ 中山町介護認定審査会，委員
- ・ 社会福祉法人輝きの会，苦情解決第三者委員会委員
- ・ 社会福祉法人輝きの会，評議員
- ・ 社会福祉法人愛泉会，機能訓練に関するアドバイザー
- ・ 日本認知症ケア学会，代議員・東北地域部会副部長・山形県世話人
- ・ 日本認知症ケア学会，代議員・東北地域部会副部長・山形県世話人・査読委員
- ・ 日本保健医療福祉連携教育学会，査読委員
- ・ 日本理学療法士協会東北ブロック協議会，査読委員
- ・ 山形県介護支援専門員協会，副会長・山形地区支部長
- ・ 認知症の人と家族の会山形県支部，監事
- ・ 山形県認知症ケア専門士会，顧問

赤塚清矢

- ・ 東北理学療法学会，論文査読委員
- ・ 山形理学療法学会，論文査読委員
- ・ 山辺町介護認定審査会，委員

永瀬外希子

- ・ 山形県理学療法士会，事務局部長
- ・ 山形理学療法学会，論文査読委員

室伏祐介

- ・ 山形県理学療法士会，理事
- ・ 東北ブロック協議会，役員

鈴木栄三郎

- ・ 日本理学療法士協会登録理学療法士制度検討部会，部員
- ・ 東北ブロック協議会学術局機関誌編集部，部員
- ・ 東北ブロック協議会，生涯学習部担当者
- ・ 山形県理学療法士会，教育局長
- ・ 山形県理学療法士会教育局，生涯学習部理事
- ・ 山形県理学療法士会教育・学術局，専門領域推進部理事
- ・ 日本神経理学療法学会山形地方会，部員
- ・ 第44回東北理学療法学会大会，事務局長
- ・ 東北理学療法学会，論文査読委員
- ・ 山形理学療法学会，論文査読委員
- ・ 日本神経理学療法学会山形地方会，部員

V. 外部資金取得

- 1). 加藤浩（研究代表者）：2021～2024 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「多関節運動協調から捉えた股関節疾患患者の動作の質及びトレーニング効果に関する研究」。課題番号 24K14325
- 2). 菅原京子，丹野克子（共同研究者）：2022～2024 年度科学研究費助成事業基盤研究 B。「リモート時代の「地元創成」推進と看護人材教育－「ザ・山形プロジェクト」の挑戦－」。課題番号 22H03417
- 3). 遠藤和子，丹野克子（共同研究者）：2022～2025 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「高齢腹膜透析患者の地元暮らしを支える看護-介護チームビルディングプログラムの開発」。課題番号 22K11176
- 4). 南澤忠儀（研究代表者）千葉登，鈴木栄三郎（共同研究者）：2024～2026 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「脳卒中者の麻痺肢に対するバーチャルリアリティ療法と反復他動運動による神経再編」。課題番号 24K14299
- 5). 鈴木栄三郎（研究代表者）：2020～2023 年度科学研究費助成事業若手研究。「運動観察とミラーシステムへの tDCS の併用による上肢運動機能回復の促進」。課題番号 20K19346
- 6). 鈴木栄三郎（研究代表者）：2023～2027 年度科学研究費助成事業若手研究。「ミラーシステムへの tDCS と運動観察による上肢運動機能への効果と作用機序の解明」課題番号 23K16544

VI. その他，特記すべき事項

- 1). 鈴木栄三郎：令和6年度若手教員奨励賞，山形県立保健医療大学
- 2). 工藤大輔：国際学会参加奨励賞 (Travel Grant Award)：7th Taiwan International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders.

作業療法学科 (2024年)

I. 研究業績

① 著書（共著）

- 1). 内山靖, 藤井浩美（編著者）, 立石雅子. リハベーシック情報科学・統計分析. 東京都：医歯薬出版；2024.
- 2). 内山靖, 藤井浩美（編著者）, 立石雅子. リハベーシック 薬理学・臨床薬理学(第2版). 東京都：医歯薬出版；2024.
- 3). 内山靖, 藤井浩美（編著者）, 立石雅子. リハベーシック 生化学・栄養学（第2版）. 東京都：医歯薬出版；2024.
- 4). 外川佑. CHAPTER 10 データの前処理をする. 内山靖・藤井浩美・立石雅子（編集）. リハベーシック 情報科学・統計分析. 東京都：医歯薬出版株式会社. 2024. 82-89.
- 5). 川勝祐貴. CHAPTER 14 テキストマイニング. 内山靖, 藤井浩美, 立石雅子（編集）. リハベーシック情報科学・統計分析. 東京都：医歯薬出版株式会社；2024. 114-121.
- 6). 川勝祐貴. コラム「病的体験を理解するには」「主観的評価と客観的評価の違いの意味」「リハ専門職自身の心の健康管理」. 内山靖, 藤井浩美, 立石雅子（編集）. リハベーシック心理学・臨床心理学第2版. 東京都：医歯薬出版株式会社；2024. 11,15,99.
- 7). 川勝祐貴. コラム「リハ専門職が服薬アドヒアランス向上にかかわるには?」「職種による有害反応のとらえ方の相違」「リハビリテーション時の留意点（ドパミンの謎）」. 内山靖, 藤井浩美, 立石雅子（編集）. リハベーシック薬理学・臨床薬理学第2版. 東京都：医歯薬出版；2024. 37,41,85.

② 原著論文等・総説

- 1). Kawakatsu Y, Takahata M, Satake S, Sato T, Eakman AM. A single-arm pilot study of a brief cognitive-behavioral therapy for insomnia intervention among Japanese occupational therapy and physical therapy university students with sleep disturbances. *Frontiers in Sleep-Sleep, Behavior and Mental Health*. 2024; 3, 1397311.
- 2). Morikawa T, Mura N, Sato T, Katoh H. Validity of the estimated angular information obtained using an inertial motion capture system during standing trunk forward and backward bending. *BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation*. 2024.7; 16.doi:10.1186/s13102-024-00942-1
- 3). Uehiumi T, Ishizawa M, Takahata M, Yamaki M, Sato T. The Effects of Pre-bedtime Blue-Light Exposure on Subjective Sleep Quality, Attention, and Work Efficiency in Men Students: A Pilot Study. *Sleep and Vigilance*. 2024.6; 8: 215-221.
- 4). Nabeya R, Fujii H, Sato T. Immediate effects of circular trunk movements on reach distance and centre of pressure distance during a multidirectional seated reach task in participants with post-stroke hemiparesis: a non-randomised controlled trial. *International Journal of Therapy and Rehabilitation*. 2024.1; 31(1). doi:10.12968/ijtr.2022.0030
- 5). Morimatsu C, Sotokawa T, Kikuchi A. Association of age and neurological severity at intensive care unit admission with driving resumption within 30 days of stroke. A single-center historical cohort study. *Cureus*. 2024; 16: e68800.
- 6). Suzuki Y, Haba Y, Onodera A, Nakamura Y, Nakamura S, Fujii H. Handwriting Training with a Board Prototype: A Randomized Controlled Trial. *Engineering. Open Access(EOA)* . 2024. 11 ;2(4); 1-10.

- 7). Satake N, Fujii H, Satake S. Benefit of Typoscope on Transcription in Children with Writing Difficulties. A Study of Three Cases. *Journal on Developmental Disabilities*. 2024;29(1): 1-13.
- 8). Suzuki Y, Fujii H. Influence of Eye Movements on Writing Pressure During Handwriting. A CrossSectional Study. *Engineering: Open Access*. 2024; 2(1): 1-11.
- 9). Yoshimoto T, Nito M*, Hashizume W, Shimada K, Sato T, Shindo M, Naito A. Mutual oligosynaptic inhibition of group Ia afferents between the anterior and posterior parts of the deltoid in humans. *Exp Brain Res*. 2024; 242: 1481-1493. doi: 10.1007/s00221-024-06834-7 (*: corresponding author)
- 10). Morimatsu C, Sotokawa T, Kikuchi A. Association of Age and Neurological Severity at Intensive Care Unit Admission With Driving Resumption Within 30 Days of Stroke. A Single-Center Historical Cohort Study. *Cureus*. 2024 Sep 6;16(9):e68800. doi: 10.7759/cureus.68800. PMID: 39246635; PMCID: PMC11380559.
- 11). Murakami T, Kobayashi T, Ono H, Shibuma H, Tsuji K, Nikkuni E, Mori N, Tabata M, Irokawa T, Ogawa H, Takahashi T, Kurosawa H. Phase angle as an indicator of sarcopenia and malnutrition in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Respiratory Investigation*. 2024; 62: 651-656.
- 12). Minamisawa T, Chiba N, Suzuki E. Differences in left and right lower limb control strategies in coping with visual tracking tasks during bipedal standing. *Front.Sports Act.Living*. 2024; 6: 1421881.
- 13). 渡部穂奈果, 半田直子, 佐藤寿晃. 病棟勤務看護職員の勤務形態の違いが不眠と疲労度、QOL に与える影響. *山形保健医療研究*. 2024.3 ; 27 : 1-10.
- 14). 川田智尋, 中村泰輔, 湯口翔太, 佐竹真次, 佐藤寿晃. 訪問リハビリテーション利用者の同居家族の介護負担感に関連する要因の検討. ~多施設調査における利用者本人の主疾患別の比較~作業療法. 2024.10 ; 43(5) : 638-644.
- 15). 岩城直幸, 吉井真理子, 佐久間真由美, 外川佐. 実車評価介入において易怒的な発言や攻撃的な運転行動が観察された症例に対する自動車運転再開支援の経験. *日本安全運転医療学会誌*. 2024 ; 4(1) : 61-66.

II. 学会・研究会発表

A) 国際学会・研究会など

- 1). Nito M, Chen B, Nielsen JB, Perez MA: Post-Activation Depression is Attenuated in Individuals following Spinal Cord Injury with and without Spasticity. XXIV, The International Society of Electrophysiology & Kinesiology Congress, Nagoya, 2024 June.
- 2). Nito M, Kudo D, Koseki T, Tanabe S, Yamaguchi T: Transcutaneous Spinal Random Noise Stimulation Facilitates Motor Memory Consolidation in Healthy Individuals. XXIV, The International Society of Electrophysiology & Kinesiology Congress, Nagoya, 2024 June.
- 3). Nito M, Kudo D, Koseki T, Tanabe S, Yamaguchi T: Transcutaneous Spinal Random Noise Stimulation Enhances Motor Memory Consolidation in Healthy Individuals. Society for Neuroscience 2024, Chicago, IL, USA, 2024 Oct.
- 4). Sato T, Kawakatsu Y, Takahata M, Kudo D, Satake S, Eakman AM: Factors Affecting Sleep Quality in university of Health Sciences Students. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 5). Ogawa T, Sato T, Oyama K, Saito K: Effect of weight bands on center-of-gravity sway in a child with motor development disturbance. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.

- 6). Kato K, Kanazawa Y, Umetsu K, Watanabe Y, Sato T: Changes of physical function and LSA at the beginning and end of short-term intensive exercise class for community-dwelling elderly adults for preventative of long-term care. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 7). Takehara S, Sotokawa T, Sato T, Tauchi Y, Sakamoto R, Kanata Y, Domen K: Exploring the factors to relate driving simulator performance in patients with brain injury by using hierarchical clustering analysis. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 8). Oto F, Matsuda N, Ito K, Morikawa-Ito S, Morikawa A, Fujii H: Occupational therapy visits to school-refusing students: typical occupational therapist involvement at the first visit. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 9). Suzuki Y, Fuji H: Examination of factors related to opening plastic bottles in patients with cervical spondylotic myelopathy. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 10). Sekimoto M, Sotokawa T, Takabatake S, Yuri Y, Tani T, Suzuki Y, Fujii H: Decreased leisure time of people with Parkinson's disease living in the community is associated with anxiety and depression. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 11). Morikawa-Ito S, Ito K, Matsuda N, Kutomi K, Morikawa A, Suzuki Y, Sotokawa T, Fuji H: Relation between sensory profile and standing trouser-wearing motion in children with autism spectrum disorder. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 12). Kase Y, Sato K, Takenaka S, Fujii H: Why is occupational therapy effective for child development services? The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 13). Sato K, Akatsuka I, Suzuki Y, Fujii H: Occupational therapists' management perspectives on establishing child development support facilities in Yamagata, Japan. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 14). Takenaka S, Kase Y, Akatsuka I, Tani T, Fujii H: Japan's Developmental Support Service Difficulties from Therapists' Perspectives. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 15). Horikirikawa N, Kafuku T, Fujishima K, Suzuki Y, Fujii H: Self-help device operation for one-handed zipper closure of a front-fastening jacket using the center of pressure transition as an indicator. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 16). Ito K, Morikawa A, Matsuda N, Morikawa-Ito S, Kutomi K, Fujii H: Standing trousers-wearing motions of children with autism spectrum disorder before and after an occupational therapy program. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 17). Matsuda N, Kato K, Ito K, Morikawa A, Suzuki K, Fujii H: Motions used by typically developing 4-6 year old children for putting on trousers in a standing position. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 18). Takasuga C, Nakano I, Morikawa A, Fujii H: Cooperation among day-care facility for children with disabilities and relevant institutions: a case study of online alternative therapy during the Coronavirus pandemic. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 19). Kutomi K, Ito K, Matsuda N, Morikawa-Ito S, Morikawa A, Fujii H: Does play-based occupational therapy improve standing trouser-wearing motion for children with autism spectrum disorder? The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 20). Gima S, Matsuda N, Ito K, Morikawa-Ito S, Morikawa A, Fujii H: Improving Self-Efficacy and Social Life Skills in Children with Neurodevelopmental Disabilities through the Marine Program. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.

- 21). Kudo D, Nito M, Kikuchi A, Tanabe S, Yamaguchi T: Individualized beta-band oscillatory theta burst stimulation over the primary motor cortex enhances corticospinal excitability in healthy individuals. 7th Taiwan International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders, Taipei, Taiwan, 2024 Nov.
- 22). Shitara K, Omiya A, Nito M: Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation with and without Muscle Contraction on Motor Performance in Healthy Adults. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 23). Omiya A, Shitara K, Nito M: Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation with and without Muscle Contraction on Corticospinal Excitability in Healthy Adults. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 24). Morimatsu C, Sotokawa T, Kaseda Y, Mizoue T. Neurological factors when being rushed to the hospital and their link to driving again within 30 days of stroke. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 25). Sotokawa T, Nasu S, Ikuta J. Relationship between the results of a driving simulator task and actual driving errors in patients with right hemisphere damage: An approach using Principal component analysis and Hierarchical Cluster Analysis. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.
- 26). Murakami T, Mori N, Takahashi T, Kurosawa H: A person with connective tissue disease-associated interstitial lung disease was able to maintain physical activity after the introduction of home oxygen therapy by continuing to farm and using a pedometer and a step log. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo, Japan, 2024 Nov.

B) 国内学会・研究会など

- 1). 松田 直子, 大戸 普賢, 伊藤 香織, 森川 敦子, 藤井 浩美: マリンプログラムを含む療育キャンプによる自己効力感の向上. 第10回日本小児診療多職種研究会, 東京都千代田区, 2024.2.
- 2). 九富 佳奈, 室下 明子, 伊藤 詩奈, 伊藤 香織, 松田 直子, 高橋 るな, 橋本 英樹, 村田 詩歩, 森川 敦子, 藤井 浩美: 不安障害を合併する発達障害児へ複数の担当者が支援を行った一症例. 第10回日本小児診療多職種研究会, 東京都千代田区, 2024.2.
- 3). 仁藤充洋:【シンポジウム】 物理療法の最適化に向けた痙縮評価とその病態生理の解明. 日本物理療法合同学術大会 2025, 愛知県名古屋市, 2025.2.
- 4). 仁藤充洋, 工藤大輔, 小関忠樹, 田辺茂雄, 山口智史: 頸部への経皮的ランダムノイズ刺激は運動学習の定着を促進する. 日本物理療法合同学術大会 2025, 愛知県名古屋市, 2025.2.
- 5). 宮崎大, 仁藤充洋: 反復末梢磁気刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 日本物理療法合同学術大会 2025, 愛知県名古屋市, 2025.2.
- 6). 小関忠樹, 宮崎大, 吉田海斗, 工藤大輔, 仁藤充洋: 経皮的脊髄直流電気刺激が脊髄相反性抑制へ与える影響-予備的研究-. 日本物理療法合同学術大会 2025, 愛知県名古屋市, 2025.2.
- 7). 外川佑:【特別講演】 未来の情報生産者になろう、driving & community mobility の臨床と研究. 第9回運転と作業療法研究会学術大会, 大阪府大阪市, 2024.3.
- 8). 外川佑:【シンポジウム】 臨床家必見!! 未来につなげる driving & community mobility の臨床研究、事例報告のススメ. 第9回運転と作業療法研究会学術大会, 大阪府大阪市, 2024.3.
- 9). 森松千夏, 外川佑:【シンポジウム】 臨床家必見!! 未来につなげる driving & community mobility の臨床研究、事例報告のススメ. 第9回運転と作業療法研究会学術大会, 大阪府大阪市, 2024.3.

- 10). 松田 直子, 大戸 普賢, 伊藤 香織, 森川 敦子, 藤井 浩美: 身体症状を訴える不登校児の 対人関係と社会参加の拡大 一 個別から集団における段階つけた支援一. 第 24 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 山形 2024, 山形県山形市, 2024.6.
- 11). 岩城直幸, 小菅英恵, 外川佑: 記憶力・判断力が少し低下した高齢運転者に対する反復的な運転指導の効果-単一事例実験の ABABAB デザインによる行動変容の効果検証(1)-. 日本交通心理学会大会発表論文集 89th 日本交通心理学会第 89 回福岡大会, 福岡県福岡市, 2024.6.
- 12). 小菅英恵, 岩城直幸, 外川佑: 記憶力・判断力が少し低下した高齢運転者に対する技能検定手続きを用いた運転指導の評価と応用 単一事例実験の ABABAB デザインによる行動変容の効果検証(2). 日本交通心理学会大会発表論文集 89th 日本交通心理学会第 89 回福岡大会, 福岡県福岡市, 2024.6.
- 13). 薄衣美央, 川勝祐貴, 田中有貴, 小野寺由紀恵, 井上大輔, 石山富雄, 石井洋: なじみのある作業を通し居場所を持たせた事例. 第 25 回日本認知症ケア学会, 東京都千代田区, 2024.6
- 14). 藤井浩美, 伊藤詩奈, 伊藤香織, 松田直子, 久富佳奈, 森川敦子, 鈴木由美, 自閉スペクトラム症を有するこどもの立位ズボン履き動作の特徴. 第 31 回山形県作業療法学会, 山形県山形市, 2024.9.
- 15). 鈴木由美, 小山修汰, 松永泰斗, 須摩千春. 10 点法感覚テストの回答精度調査. 第 31 回山形県作業療法学会, 山形県山形市, 2024.9.
- 16). 佐藤寿晃, 川勝祐貴, 高畑未樹, 佐竹真次: 保健医療系大学生における睡眠の質に影響を及ぼす要因. 第 34 回東北作業療法学会, 山形県山形市, 2024.7.
- 17). 外川佑:【シンポジウムⅡ】 高次脳機能障害に対する最新の病態解釈と治療: 半側空間無視を有する患者の社会復帰や地域移動, 第 33 回福岡県理学療法士学会, 福岡県福岡市, 2024.7.
- 18). 仁藤充洋:【講演】 末梢磁気刺激によるニューロモデュレーション. 第 3 回日本 PMS 研究会, 東京都中央区, 2024.8.
- 19). 佐藤寿晃, 伊東駆: 多点筋電計測システムを用いた作業療法実践への活用. 第 31 回山形県作業療法学会, 山形県山形市, 2024.9.
- 20). 加藤緩奈, 金澤康之, 渡辺庸介, 長岡望, 佐藤寿晃: 短期集中介護予防プログラムにおける IADL 評価の検討 山形市元気あつぷ教室(通所 C 型)の取り組みを通して. 第 31 回山形県作業療法学会. 山形県山形市, 2024.9.
- 21). 長谷希望, 妹尾俊明, WANG Yecan, 新川智, 小野浩, 谷口広樹, 光澤茂信, 外川佑, 藤生克仁, 菊見映理子: 日常生活データとドライビングシミュレータテストを使用したドライバーのリスク予測手法に関する研究. Journal of the Japanese Council of Traffic Science. 24(Supplement) 第 60 回交通科学学会学術講演会, 東京都千代田区, 2024.9.
- 22). 小田朝暉, 竹中佐江子, 加勢泰庸, 佐藤可奈子, 藤井浩美: 山形におけるセラピストから見た発達支援サービスの難しさ, 第 58 回日本作業療法学会, 北海道札幌市, 2024.11.
- 23). 平岡宏太良, Mesfin Berihu, 菊地飛鳥, 船木善仁, 原田龍一, 石木愛子, 古本祥三, 岡村信行, 菊池昭夫, 渡部浩司, 田代学: 神経炎症イメージングのための PET 薬剤[18F]SMBT-1 の動態解析. 第 64 回日本核医学会学術総会, 神奈川県横浜市, 2024.11.
- 24). 田代学, Wu Yingying, 平岡宏太良, 富田尚希, 小林良太, Tekea Berihu, 原田龍一, 菊地飛鳥, 武田和子, 草場美津江, 菊池昭夫, 古川勝敏, 渡部浩司, 麦倉俊司, 川勝忍, 石井賢二, 二橋尚志, 加藤隆司, 古本祥三, 岡村信行: 認知症患者の層別化における[18F]SMBT-1 の有用性の検討プロジェクトの最終報告 2024. 第 43 回日本認知症学会学術集会, 福島県郡山市, 2024.11.
- 25). 森松千夏, 外川佑, 加世田ゆみ子, 溝上達也: 中央線のないドライビングシミュレータコースで不安定な運転挙動が観察された右視床出血例. 第 58 回日本作業療法学会, 北海道札幌市, 2024.11.
- 26). 宇野友紀, 公平瑠奈, 外川佑, 鈴木匡子: 進行性多巣性白質脳症により視空間認知機能低下を呈した症例の音読の障害について. 第 48 回日本高次脳機能学会学術総会, 東京都八王子市, 2024.11.

- 27). 渋間勇人, 青木倉揚, 森直樹, 大河内真也, 色川俊也, 小川浩正, 赤羽和博, 黒澤一: 早産極低出生体重児の陥没呼吸期間と呼吸器管理離脱についての検討. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 愛知県名古屋市, 2024.11.
- 28). 渋間勇人, 青木倉揚, 松内祥子, 赤羽和博, 森直樹: NICU 入院児に対する General Movement Checklist を用いた評価の比較検討 (優秀賞受賞). 第 11 回小児理学療法学会, 福島県福島市, 2024.11.
- 29). 小菅英恵, 外川佑, 岩城直幸: 高齢者講習受講者の運転行動特徴分類の試み: 基準行為の有無データに対する k-modes クラスタリングを用いて. 第 8 回日本安全運転医療学会, 東京都千代田区, 2024.12.
- 30). 園原和樹, 佐藤理恵, 中村真大, 中山諒太, 深澤聡志, 藤原敦史, 松塚翔司, 外川佑: 運転時の視野と視野計の測定範囲の関係. 第 8 回日本安全運転医療学会, 東京都千代田区, 2024.12.
- 31). 黒木清孝, 安田和弘, 外川佑: VR を用いた空間領域評価と DS 評価で顕在化した軽度半側空間無視症例の運転行動特徴との関係: 事例報告, 第 8 回日本安全運転医療学会, 東京都千代田区, 2024.12.
- 32). 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」前半: 評価編. 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”, 東京都千代田区, 2024.12.
- 33). 森松千夏, 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」前半: 評価編. 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”, 東京都千代田区, 2024.12.
- 34). 黒木清孝, 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」前半: 評価編. 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”, 東京都千代田区, 2024.12.
- 35). 竹原崇登, 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」後半: 介入編. 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”, 東京都千代田区, 2024.12.
- 36). 久保田純平, 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」後半: 介入編, 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”. 東京都千代田区, 2024.12.
- 37). 橋本竜之介, 外川佑:【ワークショップ】「臨床現場でのドライビングシミュレータの活用と意思決定」後半: 介入編. 第 8 回 日本安全運転医療学会学術集会 “外出を支えるまちづくり ~安全な運転再開と移動手段の確保~”, 東京都千代田区, 2024.12.

III. 学会・講演会・シンポジウムなどの主催

- 1). 外川佑 (学術大会長): 第 9 回運転と作業療法研究会学術大会. 大阪府大阪市, 2024.3.
- 2). 藤井浩美 (学術大会長): 第 24 回日本訪問リハビリテーション協会, 山形県山形市, 2024.6
- 3). 加藤緩奈 (実行委員): 第 24 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 山形 (山形県山形市), 山形県立保健医療大学, 2024.6.

IV. 社会貢献・地域貢献

① 公開講座・講演会・研修会・講習会・高校への出張講義などの講師

- 1). 外川佑：第1回中伊豆リハビリテーションセンター自動車運転研修会講師，静岡県伊豆市，2024.1.
- 2). 外川佑：岩手県作業療法士会 自動車運転と移動支援特設委員会研修会研修講，岩手県盛岡市，2024.1.
- 3). 森直樹：山形県母子保健コーディネーター人材養成研修会，山形県山形市，2024.1.
- 4). 川勝祐貴：「こころとからだの理解：言語療法」，山形県立山辺高等学校福祉科講師，山形県山辺市，2024.1
- 5). 高畑未樹：こころとからだの理解 義肢装具・福祉用具，山形県立山辺高等学校福祉科講義，山形県立山辺高等学校（山形県山辺町），2024.1.
- 6). 菊池昭夫：令和6年度医療従事者講習会，山形県山形市，2024.2.
- 7). 外川佑：高知県作業療法士会自動車運転研修会講師，Zoom，2024.2.
- 8). 森直樹：発達支援基礎研修会，山形県山形市，2024.2.
- 9). 千葉登：山形能力開発促進センター（ポリテクセンター山形）講師，2024.2，2024.8.
- 10). 外川佑：日本交通心理学会 将来ビジョンWG助成・会員自主企画，単一事例実験法講師，東急自動車，東京都多摩市，2024.4.
- 11). 菊池昭夫：山形県難病連総会講演会，山形県山形市，2024.5.
- 12). 森直樹：通常学級における特別な配慮を要する子ども対応研修会，山形県山形市，2024.5.
- 13). 森直樹：嶋ほいくえん保育研修会，山形県山形市，2024.5.
- 14). 佐藤寿晃：令和6年度山形県介護支援専門員研修専門研修，オンライン，2024.6.
- 15). 仁藤充洋：運動神経が良い？滑らかな運動の仕組みとその障害。第1回公開講座，山形県山形市，2024.6.
- 16). 森直樹：こまくさ学園保護者研修会，山形県山形市，2024.6.
- 17). 千葉登：山形県立酒田南高等学校 出前講義，2024.6.
- 18). 川勝祐貴：「作業科学研究を進める～研究疑問の作り方」，日本作業科学研究会研修会話題提供者，Web開催，2024.6
- 19). 川勝祐貴：「作業療法の“作業”について考えてみよう！」，山形県立山形北高校模擬授業講師，山形県山形市，2024.6
- 20). 佐藤寿晃：作業療法の可能性、日本作業療法士協会 現職者共通研修、オンライン，2024.7.
- 21). 菊池昭夫：パーキンソン病医療講演会，山形県山形市，2024.7.
- 22). 外川佑：運転と作業療法研究会，応用研修会「ドライビングシミュレータ」講師，Zoom，2024.8.
- 23). 森直樹：西置賜地区現職教育協議会，保健主事専門部会研修会，山形県飯豊町，2024.8.

- 24). 森直樹：山形県立北高等学校職員研修会（特別支援教育），山形県山形市，2024.8.
- 25). 佐藤寿晃：スーパーサイエンスハイスクール（SS）に関わる事業の一環でSS健康科学，東桜館高等学校，山形県東根市，2024.9.
- 26). 外川佑：やまがた健康フェア2024「シニアドライバーの健康と交通安全講話」講師，山形県天童市，2024.9.
- 27). 外川佑：日本作業療法士協会 重点課題研修，「運転と地域移動支援」講師，Zoom，2024.9.
- 28). 森直樹：置賜地域「発達障がい支援シリーズ基礎講座」，オンライン，2024.9.
- 29). 森直樹：第2回置賜地区放課後子ども指導者等研修会，オンライン，2024.9.
- 30). 加藤緩奈：認知症の人の立場から普通の暮らしを考える，東桜学館SS健康科学講座，山形県立保険医療大学（山形県山形市），2024.9.
- 31). 佐藤寿晃：令和6年度介護支援専門員研修，オンライン，2024.10.
- 32). 外川佑：Xpert公式セミナーDACR2024，「私の研究の裏側」講師，Zoom，2024.10.
- 33). 外川佑：第2回中伊豆リハビリテーションセンター自動車運転研修会講師，静岡県伊豆市，2024.10.
- 34). 外川佑：令和6年度最北支部合同研修会オンデマンドセミナー「高齢者の運転支援」講師，2024.10
- 35). 外川佑：日本交通心理学会 地域ワークショップ in 新潟 シンポジウム講師，新潟県運転免許センター，新潟県聖籠町，2024.10.
- 36). 森直樹：寒河江市保育園全体研修会，山形県寒河江市，2024.10.
- 37). 高畑未樹：睡眠と健康について，山形県立山形中央高等学校探究活動，山形県立山形中央高等学校，2024.10.
- 38). 佐藤寿晃：臨床実習指導者講習会 日本作業療法協会，オンライン，2024.11.
- 39). 菊池昭夫：第3回パーキンソン病患者家族交流会講演，山形県山形市，2024.11.
- 40). 外川佑：老年療法学会 第2回学術研修会，「高次脳機能障害と自動車運転～OT・STの視点から～」講師，Zoom，2024.11.
- 41). Yuki Kawakatsu: 「The Differences in OT Education: Japan (YPUHS) vs. The United States (CSU)」，Diverse-OT Club Meeting Guest Speaker, Fort Collins, Colorado, 2024.11

② 公的機関等の委員

佐藤寿晃

- ・ 日本作業療法士協会，学会演題審査委員
- ・ 一般社団法人山形県作業療法士会，理事

菊池昭夫

- ・ 日本神経学会，代議員
- ・ 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会 (MDSJ)，評議員

藤井浩美

- ・ 大学改革支援学位授与機構学位審査会，専門委員
- ・ Asian Journal of Occupational Therapy，査読
- ・ 第24回日本訪問リハビリテーション協会，学術大会長

仁藤充洋

- ・ Frontiers in Human Neuroscience, Review Editor
- ・ 一般社団法人日本末梢磁気刺激研究会，理事

外川佑

- ・ 山形県作業療法士会運転と地域移動推進委員会，委員
- ・ 日本安全運転医療学会総務企画委員会，委員
- ・ 日本老年療法学会理事評議員総会，評議員
- ・ 障害と自動車運転に関する研究会，世話人
- ・ アジア太平洋作業療法学会，演題審査委員
- ・ Psychogeriatrics，学術誌査読委員
- ・ 日本作業療法士協会学術誌作業療法，査読委員
- ・ 日本安全運転医療学会，理事
- ・ 日本老年療法学会，評議員
- ・ 運転と作業療法研究会，演題審査員・学術大会大会長
- ・ 日本作業療法学会，演題審査委員
- ・ 障害と自動車運転に関する研究会，世話人
- ・ 山形県作業療法士会 運転と地域移動推進委員会，委員

森直樹

- ・ 一般社団法人日本作業療法士協会，学会演題審査委員
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会編集委員会，委員

- ・ 文部科学省「外部専門家派遣事業」，運営委員
- ・ 第42回日本感覚統合学会学会実行委員会，委員
- ・ 日本感覚統合学会社会貢献部委員会，社会貢献部委員

千葉登

- ・ 山形県社会福祉協議会運営適正化委員会，選考委員会委員
- ・ 放送大学山形学習センター，客員准教授
- ・ 一般社団法人日本作業療法士協会学術誌「作業療法」，第二査読員
- ・ 一般社団法人全国リハビリテーション学校協議会機関誌「リハビリテーション教育研究」，査読者

鈴木由美

- ・ 山形県作業療法士会，監事
- ・ 山形県作業療法士会，査読委員

佐々木学

- ・ 日本作業療法士協会学術誌編集委員会，委員
- ・ 第58回日本作業療法学会，演題審査委員

川勝祐貴

- ・ 山形県医療審議会，委員
- ・ 山形県作業療法士会，事務局法人財務資産管理委員長
- ・ 日本作業科学研究会，研究推進班委員

高知未樹

- ・ 山形県保健医療推進協議会，委員
- ・ 第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会，常任実行委員
- ・ 第35回東北作業療法学会常任実行委員会
- ・ 山形県作業療法士会，法人財務資産管理委員

V. 外部資金取得

- 1). 鈴木由美（研究代表者），藤井浩美（共同研究者）：2024～2026 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「利き手と非利き手の機能分析—眼球運動と筆圧値からの比較」。課題番号 24K14252
- 2). 藤井浩美（研究表者），鈴木由美（共同研究者）：2024～2026 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「自閉スペクトラム症の子どもの着替え動作の向上に関する研究」。課題番号 24K14580
- 3). 菊池昭夫（研究代表者）：2023～2025 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「 α -シヌクレイノパチーにおける MAO-B PET の臨床評価」。課題番号 23K06947
- 4). 仁藤 充洋（研究代表者）：2022～2024 年度科学研究費助成事業若手研究。「経皮的電気刺激を用いたヒト上肢運動機能改善の試み」。課題番号 22K17628
- 5). 外川佑（研究代表者）：2021～2025 年度科学研究費助成事業基盤研究 C。「リモート実車評価システムと患者教育・療法士育成プラットフォームの構築」。課題番号 21K12790
- 6). 外川佑：2024 年度学術コンサルティング。「ヘルモビアプリの説明方法の具体化に関する学術指導」
- 7). 高畑未樹（研究代表者）：2023～2024 年度科学研究費助成事業若手研究。「呼吸困難感に対するテーラメイドな ADL 指導の開発：主観的・客観的指標からの検討」。課題番号 23K16579

VI. その他、特記すべき事項

- 1). 仁藤充洋：若手研究奨励賞、日本物理療法合同学会大会 2025